

# 6

## 便利な機能

お使いになると便利なソフトウェアや機能について説明します。  
使用している画面イメージは一例です。

- 1** 音楽 CD を聴く ..... 138
- 2** イージーボタンを設定する ..... 141
- 3** CD-RW / CD-R を使う (CD-RW モデル).... 145
- 4** DVD を見る (DVD-ROM モデル)..... 148
- 5** タッチパッドを便利に使う ..... 150
- 6** 消費電力を節約する ..... 155

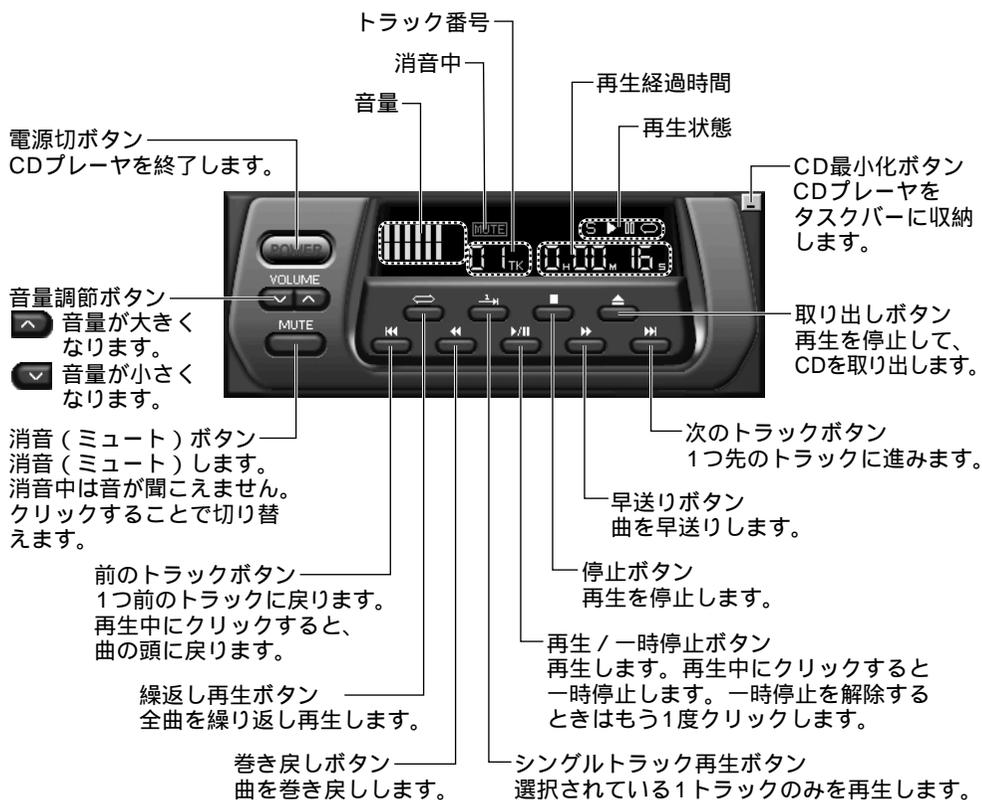
# 1 音楽CDを聴く

音楽CDをセットする、または機能切り替えスイッチを右にして、イージーボタンの▶/III ボタンを押すと、CDプレーヤが表示され、音楽の再生が始まります。音楽CDの操作は、CDプレーヤまたはイージーボタンから行います。イージーボタンは音楽CDモード（機能切り替えスイッチが右）のときに使用できます。



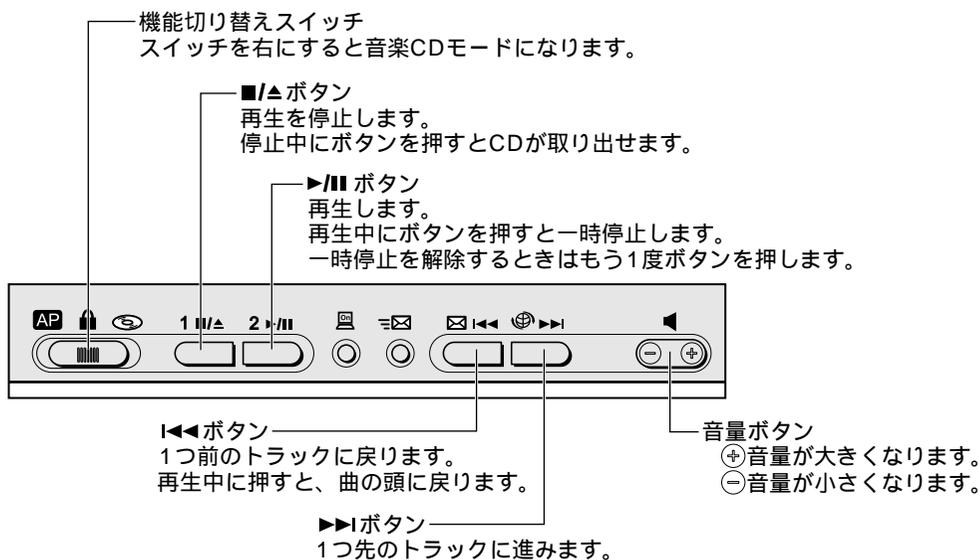
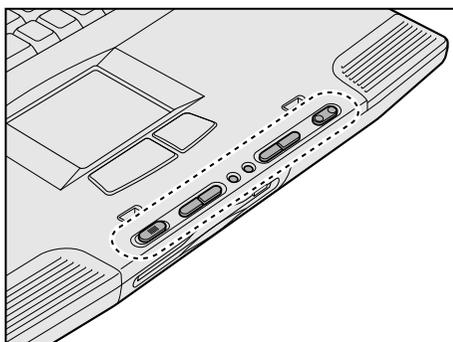
・CDプレーヤでVideo CD、AVIファイルを再生することはできません。再生する場合は、システムに標準の「Windows Media Player」をご使用ください。

## 1 CDプレーヤ



## ② イージーボタン

音楽 CD を操作するには、機能切り替えスイッチを右にしてください。



### ● Windows でイージーボタンを使用する

ご購入時は、イージーボタンは有効に設定されていません。  
イージーボタンを使うには、イージーボタンのセットアップを行なってください。  
☞ 「2章 2-2 イージーボタンとタッチパッドを使うために」

## システムが起動していないときに音楽CDを再生する

システムが起動していない（電源OFF）ときでも、イージーボタンを使って、パソコン本体の電源を入れることなく、音楽CDの再生ができます。

**1** 機能切り替えスイッチを右にする

**2** 音楽CDをセットする

■/▲ ボタンを押す、またはCD-ROM装置 / CD-RW装置 / DVD-ROM装置の取り出しボタンを押すと、ディスクトレイがでてきます。

☞ CDのセット ☜ 「4章 3-2 CD / DVDのセットと取り出し」

**3** 約10秒程たってから、▶/|| ボタンを押す

再生が始まります。

**4** 終了する場合は、■/▲ ボタンをクリックする

**5** 音楽CDを取り出す

■/▲ ボタンを押す、またはCD-ROM装置 / CD-RW装置 / DVD-ROM装置の取り出しボタンを押すと、ディスクトレイがでてきます。

☞ CDの取り出し ☜ 「4章 3-2 CD / DVDのセットと取り出し」

**6** 機能切り替えスイッチを中央（ロック状態）にする

誤操作を防ぐために、ご使用にならないときは必ず機能切り替えスイッチを中央にしてください。バッテリーを使用中の場合、機能切り替えスイッチを中央にしないとバッテリー消費が早くなります。

# 2

## イージーボタンを設定する

本製品には、ワンタッチでアプリケーションやファイルを起動したり、音楽 CD を操作できるイージーボタンがあります。

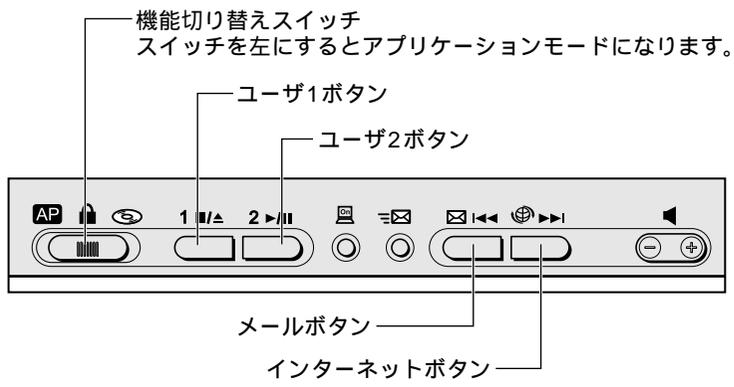
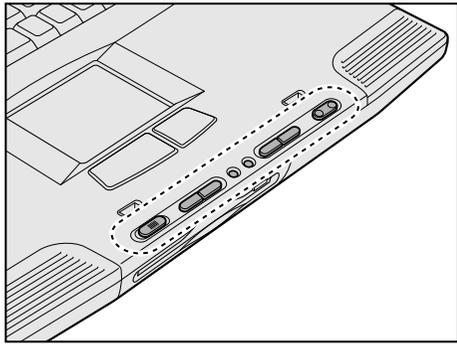


- ・ご購入時は、イージーボタンは有効に設定されていません。
- メモ Windows セットアップ終了後、イージーボタンユーティリティをインストールしてください。
- ☞ 「2章 2-2 イージーボタンとタッチパッドを使うために」

イージーボタンは機能切り替えスイッチで、アプリケーションモードと音楽 CD モードを切り替えます。

☞ 音楽 CD を操作するとき ☞ 「本章 1 音楽 CD を聴く」

ここではアプリケーションモードの詳細について説明します。



## ● アプリケーションモードについて

ボタンを押すだけで、アプリケーションやファイルを起動したり、ある特定の操作（閉じる、消音など）を実行できます。  
ご購入時は次のように設定されています。

ユーザ1ボタン /ユーザ2ボタン	設定されていません。 初めてボタンを押すと、登録画面が表示されます。 ☞「本節 アプリケーションやファイルを登録する」
メールボタン	Microsoft Outlook2000 ☞「5章 4 電子メールを使う」
インターネットボタン	Internet Explorer ☞「5章 2 インターネットに接続する」

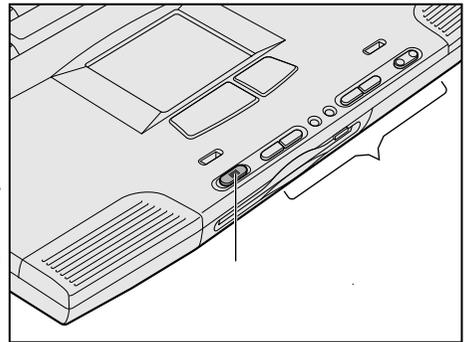
## ● 使用方法

**1** 機能切り替えスイッチを左にする

**2** 各ボタンを押す

パソコン本体の電源がOFFのときは、ボタンを2秒以上押し続けると電源がONになります。  
ユーザ1ボタン/ユーザ2ボタンを初めて押したときには、登録画面が表示されます。

☞「本節 アプリケーションやファイルを登録する」



## ● アプリケーションやファイルを登録する

**1** タスクバーの [ Easy Button ] (  ) アイコンをダブルクリックする

**2** 設定をする

必要な項目を設定してください。

画面は [ プロパティ ] で [ アプリケーションの起動 ] をチェックしている場合です。

[ 機能の選択 ] をチェックしているときは、[ 起動ファイル名 ] は表示されません。



(表示例)

[ ボタン名 ]

ボタンを選択します。

WWW : インターネットボタン

Mailer : メールボタン

User-1 : ユーザ 1 ボタン

User-2 : ユーザ 2 ボタン

[ プログラム名 ]

ボタンを押したときに、画面に表示したい名称(文字)を入力します。

[ 標準設定 ] ボタン

現在選択されているボタンの設定をご購入時の状態に戻します。

[ プロパティ ]

次の中から、ボタンを押したときに起動するアプリケーションやファイルなどを選択します。

機能の選択 ..... チェックすると、あらかじめ登録されている一定の操作を選択できます。

MUTE	消音する
Close Application	選択されているアプリケーションやウィンドウを閉じる
Task Switch	タスクバーに表示されているウィンドウを順番に切り替える

アプリケーションの起動 ..... チェックすると、あらかじめ登録されているアプリケーションを選択できます。

起動ファイル名 ..... 上記以外のアプリケーションやファイルを登録したい場合、[ アプリケーションの起動 ] をチェック後、[ ファイルの参照 ] ボタンをクリックして設定します。

[ 全てを標準設定に戻す ] ボタン

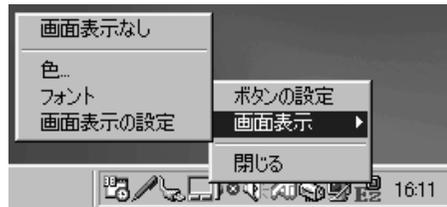
すべてのボタンの設定をご購入時の状態に戻します。

### 3 設定が終了したら、[ OK ] ボタンをクリックする

## ● 画面表示の設定

ボタンを押したときの画面の表示について設定できます。

- 1 タスクバーの [ Easy Button ] (  ) アイコンを右クリックする
- 2 [ 画面表示 ] を選択し、表示されるメニューから設定したい項目をクリックする



(表示例)

### [ 画面表示なし ]

ボタンを押したときに画面に [ プログラム名 ] を表示しません。

### [ 色 ]

文字の色を設定します。

### [ フォント ]

文字の種類を設定します。

### [ 画面表示の設定 ]

文字のサイズ、表示時間、背景色などを設定します。

# 3 CD-RW / CD-R を使う (CD-RW モデル)

\* CD-RW モデルをご購入のお客様が対象です。

本製品の CD-RW 装置を使用すると、CD-RW / CD-R にデータを書き込むことができます。

書き込みを行うためのソフトウェアとして Adaptec 社製「DirectCD」「Easy CD Creator」「Take Two」を製品に添付しております。「本節 2 インストール方法」に従ってインストールの上ご使用ください。

☞ 使用できるディスクの種類について ☞ 「4 章 3-1 CD / DVD」

## 1 CD-RW / CD-R に書き込む前に

本製品の CD-RW 装置で CD-RW / CD-R に書き込みを行うときは、次のご注意をよくお読みのうえご使用ください。

守らずにご使用になると、書き込みに失敗するおそれがあります。

また、ご使用のパソコンの設定によって、書き込みに失敗することがあります。



メモ

・書き込みに失敗した CD-R は再利用できませんが、CD-RW はフォーマットすると再利用できます。

書き込みを行うときは、必ず AC アダプタを接続して電源コンセントに接続してください。バッテリーで使用しながら書き込みを行うと、バッテリーの消耗により書き込みに失敗するおそれがあります。

書き込み中は、パソコン本体に衝撃や振動をあたえないでください。

書き込みを行うときはスクリーンセーバーなど CPU に負担のかかるソフトウェアは動作しないように設定してください。

CD-R メディアは 4 倍速以上に対応しているものをご使用ください。

ハイスピード CD-RW メディアは使用できません。

「DirectCD」「Easy CD Creator」以外の CD-RW / CD-R 書き込み用ソフトウェアをご使用になる場合は、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。

☞ 「本章 6 消費電力を節約する」

常駐型のディスクユーティリティやディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、動作の不安定やデータが破損する原因となりますので使用しないことをおすすめします。

ウイルスチェックソフトを起動している場合は、終了させてください。

次のメーカーの CD-RW / CD-R をご使用になることをおすすめします。

下記以外のメーカーの CD-RW / CD-R をご使用になると、うまく書き込みができない場合があります。

CD-RW : 三菱化学 (株) 製、(株) リコー製

CD-R : 太陽誘電 (株) 製、TDK (株) 製、三井化学 (株) 製、三菱化学 (株) 製、(株) リコー製、日立マクセル (株) 製

書き込み中に次の機器の取り付け / 取りはずしを行わないでください。

PC カード、USB 機器、CRT ディスプレイ、シリアルコネクタに接続している機器、  
パラレルコネクタに接続している機器

書き込み中に通信アプリケーション (モデムなど) を起動しないでください。

## ② インストール方法

「DirectCD」, 「Easy CD Creator」, 「Take two」のインストール方法は、次のとおりです。

- 1 添付のCDをCD-RW装置に挿入する
- 2 インストールするソフトウェアを選択する  
画面には、「DirectCD」, 「Easy CD Creator」, 「Take two」が表示されています。  
☞ 「DirectCD」について ☞ 「本節 3 DirectCD」  
☞ 「Easy CD Creator」について ☞ 「本節 4 Easy CD Creator」  
☞ 「Take two」について ☞ 「本節 5 Take two」
- 3 表示される画面にしたがってインストールを進める
- 4 インストールが完了したら、[完了]ボタンをクリックする  
ソフトウェアを選択する画面(手順2の画面)に戻ります。  
続けて他のソフトウェアをインストールする場合は手順2、3を繰り返します。
- 5 インストールを終了する場合は、[終了]ボタンをクリックする  
インストールしたソフトウェアを実行するには、コンピュータを再起動してください。

## ③ DirectCD

フロッピーディスクやハードディスクにデータを書き込むようにCD-RW / CD-Rに直接データを書き込めます。

未フォーマットのCD-RW / CD-Rに「DirectCD」で書き込みを行うには、あらかじめ「フォーマット」という作業が必要です。フォーマットを行わないと、そのCD-RW / CD-Rは使用できません。

フォーマットにかかる時間の目安と使用可能容量は次のとおりです(74分のCD-RW / CD-R使用時)。

	かかる時間	フォーマット後の使用可能容量
CD-RW	約30分~90分	約530MB
CD-R	約15秒~30秒	約620MB

「DirectCD」の詳細については、付属の『Easy CD Creator 4 スタンダード版 ユーザーズガイド』をご覧ください。

## 4 Easy CD Creator

オリジナルのCDを作成できます。家庭用CDプレーヤやカーステレオで再生できる音楽CDを作成したり、ハードディスク内の重要なファイルやフォルダをCDに書きこんで保存します。



・音楽CDをCD-RWで作成した場合、家庭用CDプレーヤやカーステレオでは再生できません。CD-Rで作成してください。

「Easy CD Creator」の詳細については、付属の『Easy CD Creator 4 スタンダード版 ユーザーズガイド』をご覧ください。

## 5 Take Two

ハードディスク全体をCD-R / CD-RWメディアにバックアップできます。また、バックアップ後は、「Take Two」を使って、システム全体または選択したファイルを簡単に復元できます。

「Take Two」の詳細については、付属の『Easy CD Creator 4 スタンダード版 ユーザーズガイド』をご覧ください。

# 4 DVDを見る(DVD-ROMモデル)

\* DVD-ROMモデルをご購入のお客様が対象です。

本製品のDVD-ROM装置を使用すると、映画タイトルなどのDVD-ROMを再生でき、パソコンできれいな画像と音楽を楽しむことができます。

DVDを再生するソフトウェアとして、InterVideo社製「WinDVD2000」をご用意しています。

## WinDVD2000

「WinDVD2000」を起動するには、次の2つの方法があります。

### 方法1

- 1 デスクトップ上の[マルチメディア]アイコン(  )をダブルクリックし、[InterVideoWinDVD]アイコン(  )をダブルクリックする

### 方法2

- 1 [スタート]-[プログラム]-[Inter Video WinDVD]-[Inter Video WinDVD]をクリックする

「WinDVD2000」を起動すると、[Inter Video WinDVD]ウィンドウとパネルが表示されます。

DVDをセットして、パネルまたはツールバーの各ボタンをクリックして操作します。再生された映像は、[Inter Video WinDVD]ウィンドウに表示されます。

### [Inter Video WinDVD]ウィンドウ

ツールバー  
パネルの各ボタンと同じ機能があります。

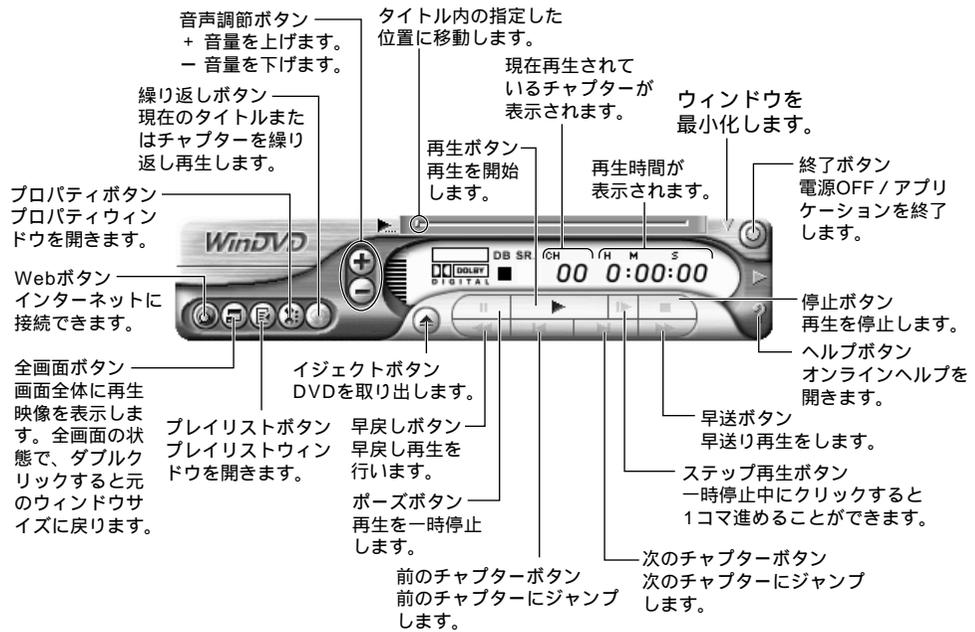


タイトル内の指定した再生速度を再生時間が表示されます。  
位置に移動します。変更します。

チャプター番号が表示されます。

再生した映像が表示されます。

## ● パネル



・「WinDVD2000」の詳しい操作方法は、[ Inter Video WinDVD ] のオンラインヘルプ ([ Inter Video WinDVD のヘルプ ]) を参照してください。  
[ Inter Video WinDVD のヘルプ ] は [ スタート ] - [ プログラム ] - [ Inter Video WinDVD ] - [ Inter Video WinDVD のヘルプ ] をクリックすると起動できます。

### リージョンコードの設定

リージョンコードは、次の手順で設定します。  
ご購入時、リージョンコードには「2」が設定されています。



・リージョンコードの変更は4回までです。  
リージョンコード1～6のすべてを見ることができますが、4回目の変更で「2」以外のリージョンコードを誤って設定すると、その後日本版DVDを見られなくなってしまう恐れがあります。  
リージョンコードの詳しい説明についてはオンラインヘルプを参照してください。  
オンラインヘルプは、ヘルプボタンをクリックすると起動します。

- 1 プロパティボタンをクリックする
- 2 [ 一般設定 ] タブで [ 地域 (リージョン) コード設定 ] で項目を選択する  
選択した項目のリージョンコードが設定されます。

# 5 タッチパッドを便利に使う



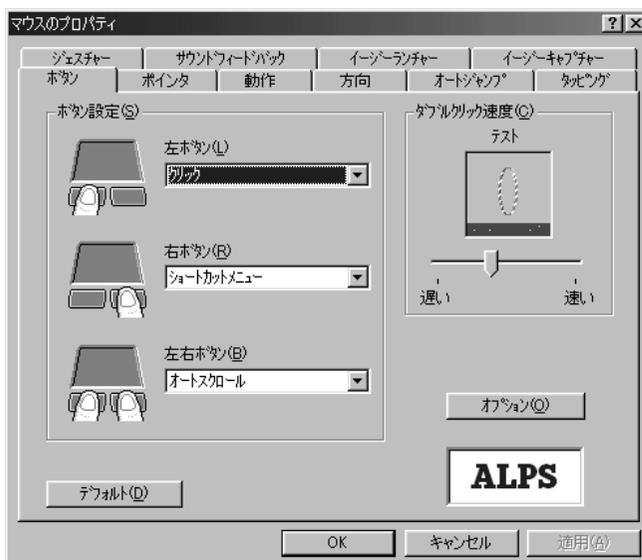
メモ

- ・ご購入時は、イージーボタンは有効に設定されていません。  
Windows セットアップ終了後、イージーボタンユーティリティをインストールしてください。  
☞ 「2章 2-2 イージーボタンとタッチパッドを使うために」

タッチパッドや右ボタン / 左ボタンはお好みに応じて、使いやすく設定できます。本節では、お使いになると便利な機能を紹介します。設定は [ マウスのプロパティ ] で行います。

## ● [ マウスのプロパティ ] の設定方法

- 1 タスクバー上の  アイコンをダブルクリックする画面が表示されます。



メモ

- ・[ スタート ] - [ 設定 ] - [ コントロールパネル ] をクリックし、[ マウス ] をダブルクリックしても表示できます。

- 2 各タブで機能を設定し、[ OK ] ボタンをクリックする  
[ キャンセル ] ボタンをクリックした場合は、設定が変更されません。

## ● ヘルプの起動方法

- 1 [ マウスのプロパティ ] 画面を表示し、画面右上の  をクリックする  
マウスポインタが  に変わります。
- 2 画面上の知りたい場所をクリックする  
説明文がポップアップで表示されます。

## ● タッピング機能

[ タッピング ] タブで設定します。

タッチパッドを指で軽くたたくことをタッピングといいます。

タッピング機能を使うと、左ボタン / 右ボタンを使用しなくてもクリック ( 1 回たたく ) ダブルクリック ( 2 回たたく ) ドラッグアンドドロップ ( 2 回たたいて移動し、指を離す ) などの基本操作が行えて便利です。



### [ タッピング ]

チェックすると、タッピング機能が使用できます。

続けてタッピングするときの速度は、スライダーバーを動かして調節します。

### [ ドラッグロックの設定 ]

タッピングでドラッグした場合、指を離してもドラッグ状態を保ちたい場合は、[ ドラッグロック ] をチェックします。

ドラッグ状態を解除する方法を次の中から選択します。

[ 自動解除 ] : ある一定時間経ったらドラッグ状態を解除します。  
時間はスライダーバーを動かして調節できます。

[ タッピング又はクリックで解除 ] : タッピング ( 1 回たたく ) またはクリックの動作でドラッグ状態を解除します。

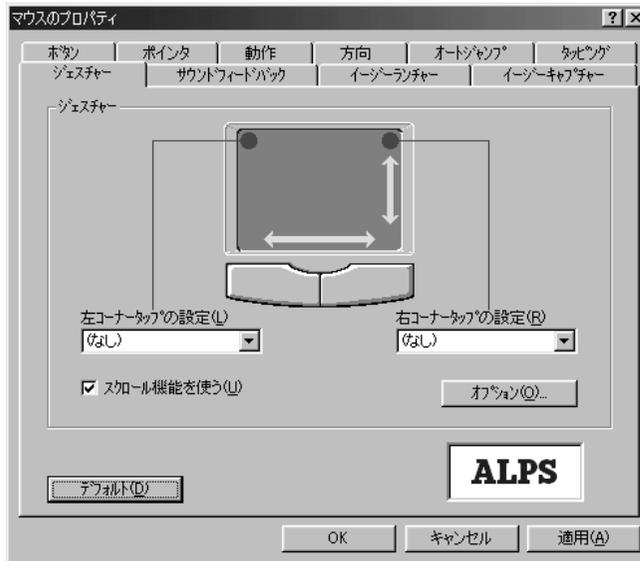
### [ キー入力時タップしない ]

タッピング機能を設定していても、キーボードから文字を入力している間はタッピング機能が効かないようにします。この項目をチェックすると、入力中にマウスポインタが意図しない場所に移動してしまうのを防ぐことができます。

## ● タッピング機能を便利に使う

[ ジェスチャー ] タブで設定します。

タッチパッドの右上、左上をタッピングしたときの動作やスクロール機能を設定しておくことができます。



### [ 左コーナータップの設定 ] [ 右コーナータップの設定 ]

タッチパッドの左上、右上をタッピングしたときの動作を設定できます。

なし	設定しません。
ショートカットメニュー	右クリックや  キーを押したときと同じ動作をします。
オートスクロール	マウスポインタが  アイコンになります。このアイコンを中心にしてスクロールしたい方向にマウスポインタを移動すると  (表示例：下の場合) が表示され、自動的にその方向の端までスクロールします。
イージーランチャー	イージーランチャー画面を表示します。  「本節 イージーランチャー機能」
イージーキャプチャー	イージーキャプチャー画面を表示します。一時的にメモ帳のように使用できます。

### [ スクロール機能を使う ]

タッチパッドの右端、下端に指を合わせて上下または左右に動かしたときに、スクロール機能を使用するときはチェックします。

## オートジャンプ機能

[ オートジャンプ ] タブで設定します。

ウィンドウを開いたときに、マウスポインタが自動的に指定の位置に移動する機能です。3つの項目から、マウスポインタを移動したい位置をチェックして、優先順位を設定します。チェックすると優先順位に従って、   が表示されますので、位置をご確認ください。

ウィンドウによって内容が異なりますので、ウィンドウの内容と優先順位に従って、マウスポインタが移動します。

画面はすべての項目をチェックした場合です。



## イージーランチャー機能

イージーランチャー画面をデスクトップ上に一時的に表示し、ボタンをクリックするだけで、最小化、閉じるなどの操作を実行したり、登録したアプリケーションやファイルを簡単に起動できる機能です。

### イージーランチャー画面を使う

- 1 タスクバーの  を右クリックして、表示されるメニューから [ イージーランチャー ] をクリックする

イージーランチャー画面が表示されます。画面が表示されている間、マウスポインタはイージーランチャー画面内しか動きません。



(表示例)



・[ ジェスチャー ] タブの [ 左コーナータップの設定 ] または [ 右コーナータップの設定 ] で [ イージーランチャー ] を選択すると、タッチパッドの左上または右上を 1 回たたくだけでイージーランチャー画面が表示されるので便利です。

- 2 イージーランチャー画面のボタンをクリックする  
ボタンをクリックすると、イージーランチャー画面は消えます。

## ● ボタンを登録する

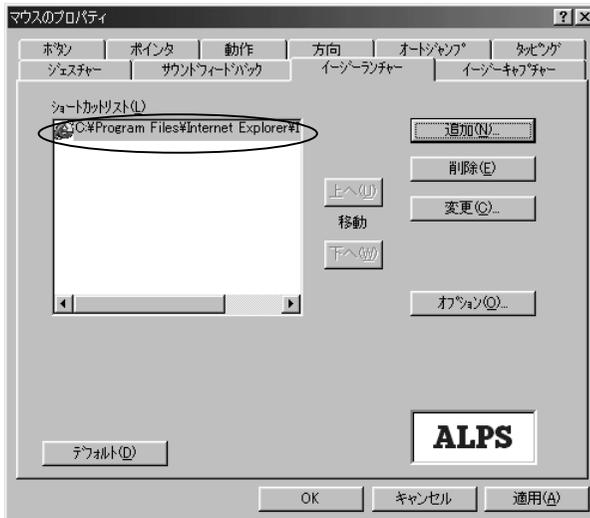
[ イージーランチャー ] タブで設定します。

### 1 [ 追加 ] ボタンをクリックする

### 2 登録したいアプリケーションやファイルを選択し、[ 開く ] ボタンをクリックする

ショートカットリストに追加されます。

画面は「Internet Explorer」を登録した場合です。



### 3 ショートカットリストにアプリケーションやファイルが追加されたことを確認し、[ OK ] ボタンをクリックする

イージーランチャー画面に登録されます。



・イージーランチャー画面の表示形式を変更するには、[ オプション ] ボタンをクリックし、表示される画面で設定します。

# 6 消費電力を節約する

本製品には、パソコン本体を省電力で使うための機能が用意されています。これらの機能を使うと、使用目的や環境に合わせて簡単に省電力設定が行えます。省電力設定を行うことによって、パソコン本体のバッテリー消費電力を抑え、より長い時間お使いいただけます。

**注意** ・CD-RW / CD-R 書き込み時は、省電力設定は行わないでください。

## 1 電源を管理する

Windows では使用目的や環境に合わせて電源管理に関する設定を行うことができます。[電源の管理] プロパティでは、さまざまな場合に応じて使用環境を記憶し、簡単に変更することができます。

### [電源の管理のプロパティ]を表示する

1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする

2 [電源の管理] をダブルクリックする

このアイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。



(表示例)

3 それぞれのタブで設定し、[OK] ボタンをクリックする

設定が終了したら、設定を有効にするためにシステムを再起動してください。

## ● [ 電源設定 ] タブ

使用目的や使用環境（モバイル、会社、家など）に合わせて、複数の電源設定を作成できます。環境が変化したときに電源設定を切り替えるだけで、簡単にパソコンの電源設定を変更することができ、快適にご使用いただけます。

### [ 電源設定 ]

ご使用の環境を選択します。

### [ モニタの電源を切る ][ ハードディスクの電源を切る ]

マウス、タッチパッド、キーボードから入力がない場合に、ここで設定した時間後にディスプレイやハードディスク装置の電源が一時的に切れます。

通常の状態に戻るには、マウスやタッチパッドを操作するか、キーを押します。

### [ システムスタンバイ ]

マウス、タッチパッド、キーボードから入力がない場合に、ここで設定した時間後にスタンバイ状態になります。

通常の状態に戻るには、電源スイッチを押します。

☞ スタンバイ機能について ☞ 「本節 2 スタンバイ機能を使う」

### [ システム休止状態 ]

マウス、タッチパッド、キーボードから入力がない場合に、ここで設定した時間後に休止状態になります。

通常の状態に戻るには、電源スイッチを押します。

☞ 休止状態について ☞ 「本節 3 休止状態を実行する」

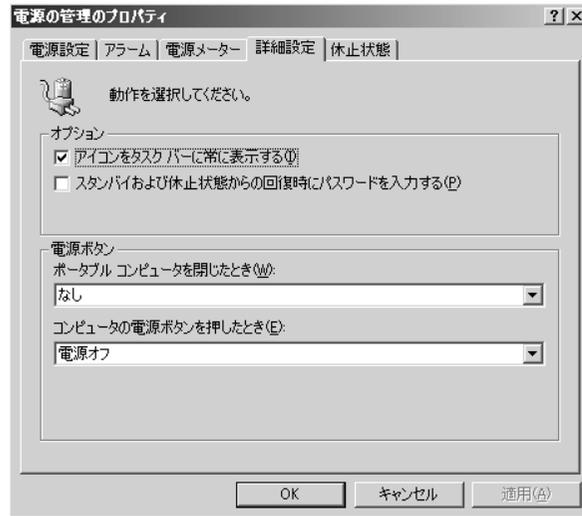
## ● [ アラーム ] タブ

バッテリー残量が少なくなったときの、ユーザに通知するためのアラームやメッセージおよび動作を設定します。

## ● [ 電源メーター ] タブ

バッテリー残量などのバッテリー情報を表示します。

## ● [ 詳細設定 ] タブ



(表示例)

### [ アイコンをタスクバーに常に表示する ]

チェックすると、電源メーター  や  を常にタスクバーに表示します。

### [ スタンバイおよび休止状態からの回復時にパスワードを入力する ]

チェックすると、スタンバイまたは休止状態を実行した後、電源スイッチを押すとパスワードを入力してから、通常の状態に戻ります。

### [ ポータブルコンピュータを閉じたとき ][ コンピュータの電源ボタンを押したとき ]

ディスプレイを閉じたときと、電源スイッチを押したときの動作を設定します。

電源オフ	Windowsを終了して、電源を切ります。
休止状態	電源を切ったときの状態をハードディスクに保存します。次に電源を入れると、切ったときの状態を再現します。 ☞ 「本節 3 休止状態を実行する」
スタンバイ	ハードディスク装置や液晶ディスプレイなどの消費電力を最小限に節約します。通常の状態に戻るとスタンバイ状態になる前の状態を再現します。 ☞ 「本節 2 スタンバイ機能を使う」
なし	液晶ディスプレイの表示をオフにします。

## ● [ 休止状態 ] タブ



(表示例)

休止状態を使用する / 使用しないを設定します。

[ 休止状態をサポートする ] をチェックしていないと、休止状態は使用できません。

☞ 休止状態の実行方法 ☞ 「本節 3 休止状態を実行する」



お願い

- ・スタンバイ状態から通常の状態に戻るときは、パソコン本体の電源ランプ  が点滅しはじめてから 10 秒以上経ってから操作してください。  
また、休止状態から通常の状態に戻るときは、休止状態になってから 10 秒以上経ってから操作してください。  
スタンバイ状態または休止状態を実行した直後に通常の状態に戻すとシステムに負担がかかり、動作が不安定になることがあります。
- ・使用するアプリケーションの動作状態や、使用する増設機器、周辺機器によっては、アプリケーションが正常に動作しなかったり、スタンバイ状態または休止状態から復帰できないことがあります。この場合はスタンバイ状態または休止状態を使用しないでください。
- ・システムの変更作業（ドライバやプリンタ、ネットワークのセットアップなど）をする場合は、スタンバイ機能または休止状態を使用しないでください。作業途中でスタンバイ状態または休止状態になると、復帰後の動作が不安定になることがあります。
- ・Windows Me で使用しているときに「コンピュータは、何度か待機状態になり、応答を停止しました。今後、待機状態にならないようにしますか？」と表示された場合は、[いいえ] を選択してください。



メモ

- ・スタンバイや休止状態から通常の状態に戻る場合は、電源スイッチを押してください。

## ② スタンバイ機能を使う

スタンバイ機能は、ハードディスク装置や液晶ディスプレイなどの消費電力を最小限に節約する機能です。次に電源を入れると切ったときの状態を再現します。

スタンバイ機能を実行すると、液晶ディスプレイの画面が真っ暗になり、電源表示ランプ  が点滅します。

### ● スタンバイ機能を実行する



メモ

・方法 1 から方法 3 を実行しない場合も、一定の時間内 ([ 電源の管理のプロパティ ] で設定) に、タッチパッド、マウス、キーボードからの入力がないときに、自動的にスタンバイ機能が実行されます。ご購入時は、コードレスで使用中的のみこの機能が設定されています。

☞ 電源の管理のプロパティ ☞ 「本節 2 電源を管理する」

#### ● 方法 1- [ Windows の終了 ] から実行する

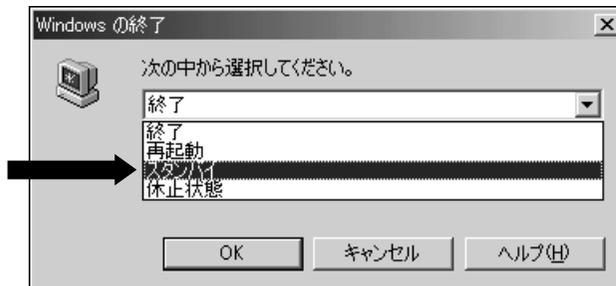
1 [ スタート ] - [ Windows の終了 ] をクリックする



(表示例)

2 ボタンをクリックして [ スタンバイ ] を選択し、[ OK ] ボタンをクリックする

スタンバイ機能を実行して終了します。



## ● 方法 2- 電源スイッチを押す

### 1 電源スイッチを押したときの動作を設定する

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする

[電源の管理]をダブルクリックする

このアイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。

[詳細設定] タブの [コンピュータの電源ボタンを押したとき] で [スタンバイ] を選択する

[OK] ボタンをクリックする

### 2 電源スイッチを押す

## ● 方法 3- ディスプレイを閉じる

### 1 ディスプレイを閉じたときの動作を設定する

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする

[電源の管理]をダブルクリックする

このアイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。

[詳細設定] タブの [ポータブルコンピュータを閉じたとき] で [スタンバイ] を選択する

[OK] ボタンをクリックする

### 2 ディスプレイを閉じる

## ● スタンバイ状態から通常の状態に戻る

### 1 電源スイッチを押す

通常画面に戻ります。

### 3 休止状態を実行する

休止状態は、電源を切る直前の状態をハードディスクに保管する機能です。スタンバイ機能と同様、次に電源を入れると、切る直前の状態を再現します。



お願い

・休止状態中は、メモリの内容をハードディスクに保存します。バッテリー状態ランプが点灯中は、バッテリーパックをはずしたり、ACアダプタを抜いたりしないでください。データが消失します。

### ● 休止状態を設定する

休止状態を実行するには、あらかじめ設定が必要です。

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする
- 2 [電源の管理]をダブルクリックする  
このアイコンが表示されていない場合は、画面左の[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリックしてください。
- 3 [休止状態]タブで[休止状態をサポートする]をチェックする  
ご購入時は有効に設定(チェック)されています。

### ● 方法 1- [Windows の終了] から実行する

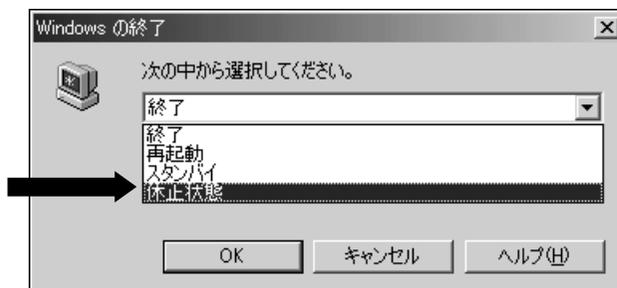
- 1 [スタート] - [Windows の終了] をクリックする



(表示例)

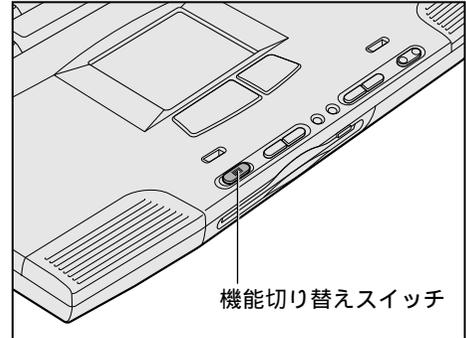
- 2 ボタンをクリックして[休止状態]を選択し、[OK]ボタンをクリックする

書き込み画面の後、休止状態を実行します。



### 3 機能切り替えスイッチをロック状態（中央）にする

機能切り替えスイッチをアプリケーションモード（左）または音楽CDモード（右）にしていると、バッテリーを早く消耗します。パソコン本体の電源を切っているときは、ロック状態に設定してください。



#### ● 方法 2- 電源スイッチを押す

##### 1 電源スイッチを押したときの動作を設定する

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする

[電源の管理]をダブルクリックする

このアイコンが表示されていない場合は、画面左の[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリックしてください。

[詳細設定]タブの[コンピュータの電源ボタンを押したとき]で[休止状態]を選択する  
[OK]ボタンをクリックする

##### 2 電源スイッチを押す

#### ● 方法 3- ディスプレイを閉じる

##### 1 ディスプレイを閉じたときの動作を設定する

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする

[電源の管理]をダブルクリックする

このアイコンが表示されていない場合は、画面左の[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリックしてください。

[詳細設定]タブの[ポータブルコンピュータを閉じたとき]で[休止状態]を選択する  
[OK]ボタンをクリックする

##### 2 ディスプレイを閉じる

#### ● 休止状態から通常の状態に戻る

##### 1 電源スイッチを押す

復帰画面が表示された後、通常の画面に戻ります。

# 7

## BIOS セットアップ

本章では、BIOS セットアッププログラムの使い方と機能について説明します。  
BIOS セットアッププログラムを使って、パソコン本体のシステム構成の設定や、  
パスワードの登録 / 削除などができます。

<b>1</b>	BIOS セットアップとは.....	164
<b>2</b>	Main(メイン)メニューの詳細 .....	168
<b>3</b>	System Devices(システムデバイス)メニューの詳細 ..	170
<b>4</b>	Security(セキュリティ)メニューの詳細 .....	173
<b>5</b>	Others(アザーズ)メニューの詳細 .....	176
<b>6</b>	Boot(ブート)メニューの詳細 .....	177
<b>7</b>	Exit(エクジット)メニューの詳細 .....	178

# ① BIOS セットアップとは

バイオス

BIOS セットアップとは、パスワードやハードディスク、周辺機器の使い方などを本体に設定するプログラムのことです。

BIOS セットアップで設定された情報は、CMOS-RAM と呼ばれる特殊なメモリに保存され、電源を切っても設定した内容が消失しないように内蔵バッテリーで保持されます。メモリの増設やハードディスク装置の増設などの変更をしない限り、1 度 BIOS セットアップを行えば以降は必要ありません。ただし、内蔵バッテリーが消耗した場合は、BIOS セットアップは既定値に戻りますので、設定した内容はメモをとるなどして忘れないようにしてください。



メモ

・BIOS セットアップ画面は英語表示のみです。日本語での、項目 / 説明の表示はありません。

## ① BIOS セットアップの起動方法

### 1 電源を入れた直後（起動時）に **F2** キーを押す

起動時に、次の「TOSHIBA」画面が表示されます。目安として、この画面表示中に **F2** キーを押します。



お願い

・**F2** キーの入力が受け付けられるのは、パソコンの電源を入れてから数秒間です。この時間内に **F2** キーを押さないと、システムが起動します。

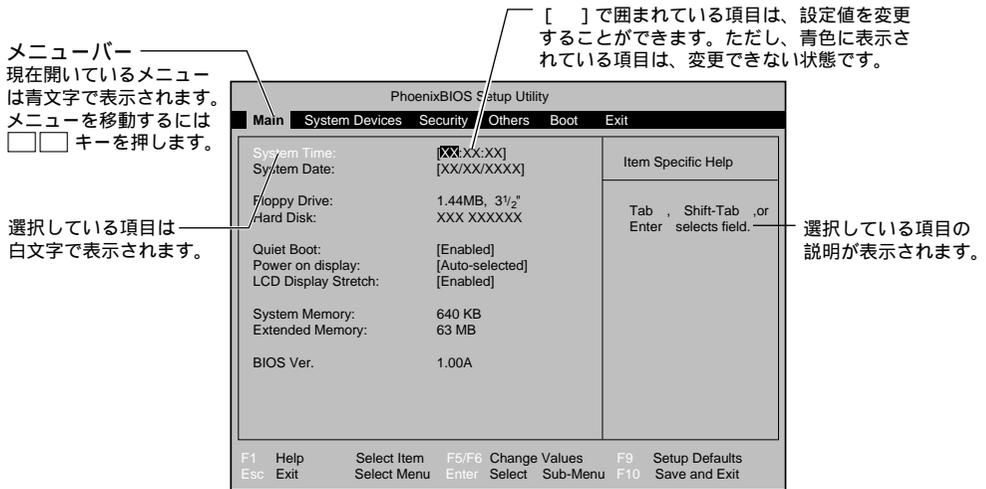
BIOS セットアップが起動できなかった場合は、通常の終了操作を行なってパソコン本体の電源を切り、上記の手順 1 をやり直してください。



(表示例)

## 2 BIOS セットアップの操作方法

### BIOS セットアップ画面について



(表示例)

### 使用するキーについて

BIOS セットアップでは、タッチパッドやマウスが使用できないため、キーボード上のキーで、メニューや項目の移動、値の入力などを行います。

ここでは、BIOS セットアップで主に使用するキーについて説明します。

#### F1、 Alt + H キー

BIOS セットアップの説明と操作方法 ([ General Help ]) を表示します。

画面上下の、表示されていない部分を見るには、 PgUp、 PgDn キーを使います。

[ General Help ] を閉じるには、もう 1 度  F1 キーまたは  Alt +  H キーを押します。

#### キー

1 つ前の項目に移動します。

#### キー

1 つ先の項目に移動します。

#### キー

1 つ前のメニューを表示します。

#### キー

1 つ先のメニューを表示します。

---

#### **PgUp**、**Home**キー

メニューの最初の項目に移動します。

---

#### **PgDn**、**End**キー

メニューの最後の項目に移動します。

---

#### **F5**キー

1つ前の項目に移動したり、選択している項目を1つ戻します。

---

#### **F6**、**Space**キー

1つ先の項目に移動したり、選択している項目を1つ進めます。

---

#### **Enter**キー

サブメニューや設定値の一覧を表示したり、設定値の選択をします。

---

#### **F9**キー

BIOS セットアップの全項目を、既定値に戻します (パスワードを除く)。

**F9**キーを押すと、「Load default configuration now?」というメッセージが表示されます。既定値に戻す場合は、[ Yes ] を、戻さないでセットアップを続ける場合は [ No ] を選択します。

---

#### **F10**キー

現在の設定を保存し (CMOS-RAM に書き込み) BIOS セットアップを終了して、システムを起動します。

**F10**キーを押すと「Save configuration changes and exit now?」というメッセージが表示されます。設定を保存して終了する場合は [ Yes ] を、保存しないでセットアップを続ける場合は [ No ] を選択します。

---

#### **Esc**キー

[ Exit ] メニューを表示します。サブメニュー中では、1つ前の状態に戻したり、1つ前の画面を表示します。

## 3 BIOS セットアップの内容

BIOS セットアップには次の 6 つのメニューがあります。

Main (メイン) メニュー

日時や起動時の HDD、FDD、メモリサイズなどを設定または表示します。

System Devices (システムデバイス) メニュー

I/O ポートと拡張機能について設定します。

Security (セキュリティ) メニュー

特定の人だけが本製品を操作するためのパスワードを設定します。

Others (アザーズ) メニュー

バッテリーアラーム音やシステムビープを設定します。

Boot (ブート) メニュー

パソコンの電源を入れたときに、システムを起動する装置を設定します。

Exit (エクジット) メニュー

BIOS セットアップを終了します。

なお、BIOS セットアップの内容は出荷時期により多少異なる場合があります。

## 2

# Main(メイン)メニューの詳細

BIOS セットアップが起動するとまず、メインメニューが表示されます。メインメニューでは日時の設定、フロッピーディスク装置、ハードディスク装置の表示などを行います。

PhoenixBIOS Setup Utility				
Main	System Devices	Security Others Boot Exit		
System Time:	[XX:XX:XX]	Item Specific Help		
System Date:	[XX/XX/XXXX]			
Floppy Drive:	1.44MB, 3 $\frac{1}{2}$ "	Tab , Shift-Tab ,or Enter selects field.		
Hard Disk:	XXX XXXXXX			
Quiet Boot:	[Enabled]			
Power on display:	[Auto-selected]			
LCD Display Stretch:	[Enabled]			
System Memory:	640 KB			
Extended Memory:	63 MB			
BIOS Ver.	1.00A			
F1 Help	Select Item		F5/F6 Change Values	F9 Setup Defaults
Esc Exit	Select Menu		Enter Select Sub-Menu	F10 Save and Exit

(注) 画面は一例です。

## System Time

時刻 (24 時間単位) を設定します。

[ 時 : 分 : 秒 ] の項目移動には、**Enter** キーまたは **Tab** キーを使います。

## System Date

年 (西暦) 月日を設定します。

[ 月 / 日 / 年 ] の項目移動には、**Enter** キーまたは **Tab** キーを使います。

## Legacy Diskette A

フロッピーディスク装置のタイプを表示します (表示のみ)。

本製品は標準で、ドライブ (装置) A に [ 1.44MB, 3 $\frac{1}{2}$ " ] タイプのフロッピーディスク装置を搭載しています。

## Hard Disk

IDE インタフェース上の装置を表示します (表示のみ)

## Quiet Boot

起動中に東芝ロゴを表示するかどうかを設定します。

- Enabled ..... 東芝ロゴを表示する
- Disabled ..... システムのテストの結果を表示する

## Power on Display

表示装置を選択します。(Windows Me では無効)

- Auto-Selected ..... システム起動時に外部ディスプレイを接続しているときは外部ディスプレイ、接続していないときはパソコン本体の液晶ディスプレイのみに表示する
- Simultaneous ..... 外部ディスプレイとパソコン本体の液晶ディスプレイに同時表示する



メモ

- Windows Me でこの機能を使用する場合は、ATI のヘルプをご覧ください。

## LCD Display Stretch

液晶ディスプレイでの表示形式を選択します。(Windows Me では無効)

- Disabled ..... ディスプレイ中央に表示する
- Enabled ..... ディスプレイ全体に表示する

## Video Display Device

表示装置を選択します。

- LCD Mode ..... パソコン本体の液晶ディスプレイのみ使用するときを設定する
- CRT Mode ..... システム起動時に外部ディスプレイを接続しているときに設定する
- Auto-selected ..... 外部ディスプレイとパソコン本体の液晶ディスプレイに同時表示するときを設定する

## System Memory

システムメモリ量を表示します。(表示のみ)

## Extended Memory

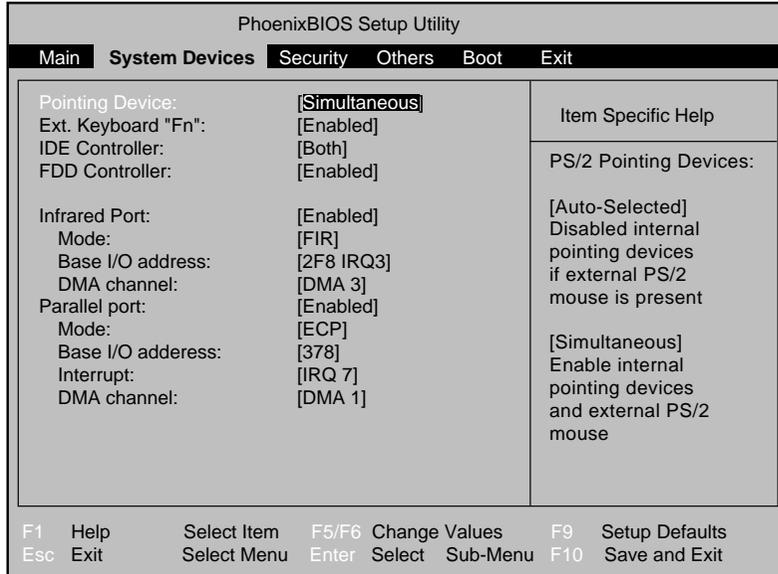
拡張メモリ量を表示します。(表示のみ)

システムデバイスメニューでは本体のハードウェア関連の設定を行います。



お願い

- ・不用意に設定を行うと動作がおかしくなる可能性があります。
- ・設定が原因で動作がおかしくなったと思われる場合は、**[F9]**キーを押し、1度既定値に戻してやり直してください。



(注) 画面は一例です。

## Pointing Device

タッチパッドを使用するか、外部 PS/2 マウスを使用するかを設定します。

- ・ Auto-Selected ..... タッチパッドか PS/2 マウスのどちらか 1 つを使用する PS/2 マウスを接続している場合は、PS/2 マウスのみ使用することができます。PS/2 マウスを接続していない場合は、タッチパッドを使用することができます。
- ・ Simultaneous ..... タッチパッドと PS/2 マウスを同時に使用する

## Ext. Keyboard "Fn"

外部キーボードで「左側にある **[Ctrl]** キー」 + 「左側にある **[Alt]** キー」を "Fn" キーに割り当てるかどうかを設定します。

- ・ Disabled ..... 割り当てない
- ・ Enabled ..... 割り当てる

## IDE Controller

IDE 装置を使用するかどうかを設定します。

- ・ Disabled ..... 使用しない
- ・ Primary ..... 標準 IDE 装置のみ使用する
- ・ Both ..... 標準 IDE 装置、増設 IDE 装置両方を使用する

## FDD Controller

フロッピーディスク装置を使用するかどうかを設定します。

- Disabled ..... 使用しない
- Enabled ..... 使用する

## Infrared Port

赤外線ポートの設定を行います。

- Disabled ..... 使用しない
- Enabled ..... 使用する
- Auto ..... 自動検出する

### Mode

[ Infrared Port ] で [ Enabled ] または [ Auto ] を選択すると表示されます。

- SIR / ASK-IR / FIR

### Base I/O address

[ Infrared Port ] で [ Enabled ] を選択すると表示されます。

ベース I/O アドレスを設定します。

[ Serial Port ] および [ Parallel port ] の [ Base I/O address ] と同じ値に設定しないでください。

- 3F8 IRQ4 / 2F8 IRQ3 / 3E8 IRQ4 / 2E8 IRQ3

### DMA channel

[ Infrared Port ] を [ Enabled ] に設定し、[ Mode ] で [ FIR ] を選択すると表示されます。

[ Parallel port ] の [ DMA channel ] と同じ値に設定しないでください。

- DMA 0 / DMA 1 / DMA 3

## Parallel port

PRT コネクタの設定を行います。

- Disabled ..... 使用しない
- Enabled ..... 使用する
- Auto ..... 自動検出する

### Mode

[ Parallel Port ] で [ Enabled ] または [ Auto ] を選択すると表示されます。

- Normal mode ..... 出力専用を設定する
- Bi-directional ..... 双方向モードを使用する周辺機器を使用する
- EPP ..... EPP 規格の周辺機器を使用する
- ECP ..... ECP 規格の周辺機器を使用する

### Base I/O address

[ Parallel Port ] で [ Enabled ] を選択すると表示されます。

ベース I/O アドレスを設定します。

[ Serial Port ] および [ Infrared Port ] の [ Base I/O address ] と同じ値に設定しないでください。

・ 378 / 278 / 3BC

### Interrupt

[ Parallel Port ] で [ Enabled ] を選択すると表示されます。

・ IRQ 5 / IRQ 7

### DMA channel

[ Parallel Port ] を [ Enabled ] に設定し、[ Mode ] で [ ECP ] を選択すると表示されます。

[ Infrared Port ] の [ DMA channel ] と同じ値に設定しないでください。

・ DMA 0 / DMA 1 / DMA 3

セキュリティメニューでは、パソコン本体にパスワードを設定して、他のひとがパソコンを使用したり、設定を変えたりできないようにします。

電源を入れたときにパスワードを正しく入力しないとパソコン本体は使用できません。パスワードを設定すると「インスタントセキュリティ機能」を使用できます。

👉 インスタントセキュリティ機能について👈 「1章 7-[Fn]キーを使った特殊機能キー」



お願い

- ・パスワードを登録する場合は、忘れないように必ずパスワードを控えてください。
- ・パスワードは表示されませんので確認することはできません。
- ・パスワードを忘れてしまった場合は、東芝PC集中修理センタにパスワードの解除をご依頼ください。

パスワードの解除を東芝PC集中修理センタにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

PhoenixBIOS Setup Utility			
Main	System Devices	Security	Others Boot Exit
User Password:	Clear		Item Specific Help
Set User Password	[Enter]		Supervisor Password controls access to the setup utility.
Password On Boot	[Disabled]		
F1 Help	Select Item	F5/F6 Change Values	F9 Setup Defaults
Esc Exit	Select Menu	Enter Select Sub-Menu	F10 Save and Exit

(注) 画面は一例です。

## User Password

ユーザパスワードが設定されているかどうかを表示します（表示のみ）

- ・ Clear ..... ユーザパスワードが設定されていない
- ・ Set ..... ユーザパスワードが設定されている

## Set User Password

パスワードには 8 文字までのアルファベットまたは数字（半角英数字）が使用できます。

符号や漢字、ひらがななどは使用できません。パスワードの入力を間違えた場合は **[BackSpace]** キーを押して入力ミスした文字を削除します。

### パスワードを設定するとき

[ Set User Password ] の **[Enter]** にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押す  
[ Set User Password ] 画面が表示されます。

[ Enter New Password ] にパスワードを入力し、**[Enter]** キーを押す

[ Confirm New Password ] に同じパスワードを入力し、**[Enter]** キーを押す  
[ Setup Notice ] 画面が表示されます。

**[Enter]** キーを押す

パスワードが設定され、[ User Password ] に [ Set ] と表示されます。

### パスワードを変更するとき

[ Set User Password ] の **[Enter]** にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押す  
[ Set User Password ] 画面が表示されます。

[ Enter Current Password ] に現在設定されているパスワードを入力し、  
**[Enter]** キーを押す

[ Enter New Password ] に新しいパスワードを入力し、**[Enter]** キーを押す

[ Confirm New Password ] に新しいパスワードをもう一度入力し、**[Enter]**  
キーを押す

[ Setup Notice ] 画面が表示されます。

**[Enter]** キーを押す

パスワードが変更されます。

### パスワードを削除するとき

[ Set User Password ] の **[Enter]** にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押す  
[ Set User Password ] 画面が表示されます。

[ Enter Current Password ] に現在設定されているパスワードを入力し、  
**[Enter]** キーを押す

**[Enter]** キーを 2 回押す

[ Enter New Password ] や [ Confirm New Password ] にはパスワードを  
入力しないでください。

[ Setup Notice ] 画面が表示されます。

**[Enter]** キーを押す

パスワードが削除され、[ User Password ] に [ Clear ] と表示されます。

## Password On Boot

ユーザパスワードを設定した場合、システムが起動する前にパスワードを入力するかどうかを設定します。

パスワードを設定しても [ Enabled ] を選択しないと、システム起動前のパスワード入力機能を使用できません。

- Disabled ..... 設定しない
- Enabled ..... 設定する

パソコンを操作するときの警告音を設定します。

PhoenixBIOS Setup Utility					
Main	System Devices	Security	Others	Boot	Exit
Low Battery Alarm:		[Enabled]		Item Specific Help	
Panel Close Alarm:		[Disabled]			
System Beep:		[Enabled]			
[Disabled] The System will not alarm when battery power is low. [Enabled] The system will alarm when battery power is low.					
F1	Help	Select Item	F5/F6 Change Values	F9	Setup Defaults
Esc	Exit	Select Menu	Enter Select Sub-Menu	F10	Save and Exit

(注) 画面は一例です。

## Low Battery Alarm

バッテリー残量が低下したときに鳴る警告音を設定します。

- ・ Disabled ..... 使用しない
- ・ Enabled ..... 使用する

## Panel Close Alarm

ディスプレイを閉じたときに鳴る音を設定します。

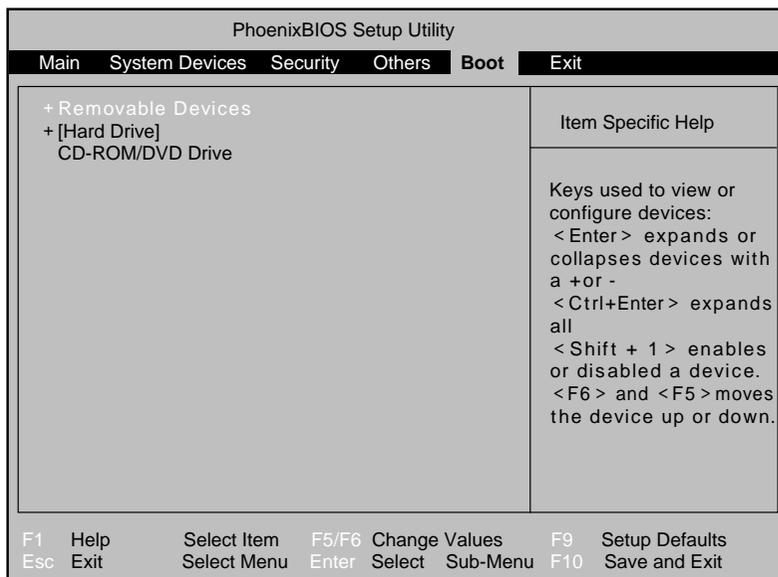
- ・ Disabled ..... 使用しない
- ・ Enabled ..... 使用する

## System Beep

パソコン起動時のビーブ音を設定します。

- ・ Disabled ..... 使用しない
- ・ Enabled ..... 使用する

パソコンが起動する際の設定を行います。



(注) 画面は一例です。

## Removable Devices | Hard Drive | CD-ROM/DVD Drive

パソコンの電源を入れたときに、システムを読み込む装置の優先順位を設定します。項目を選択し、**F5**と**F6**キーで順番を入れ替えます。

**F5**キーを押すと、選択(反転表示)されている装置の順位が1つ下がります。

**F6**キーを押すと、選択(反転表示)されている装置の順位が1つ上がります。

- Removable Devices ..... フロッピーディスクドライブ / スーパーディスクドライブ
- Hard Drive ..... ハードディスク装置
- CD-ROM/DVD Drive ..... CD-ROM / CD-RW / DVD-ROM 装置

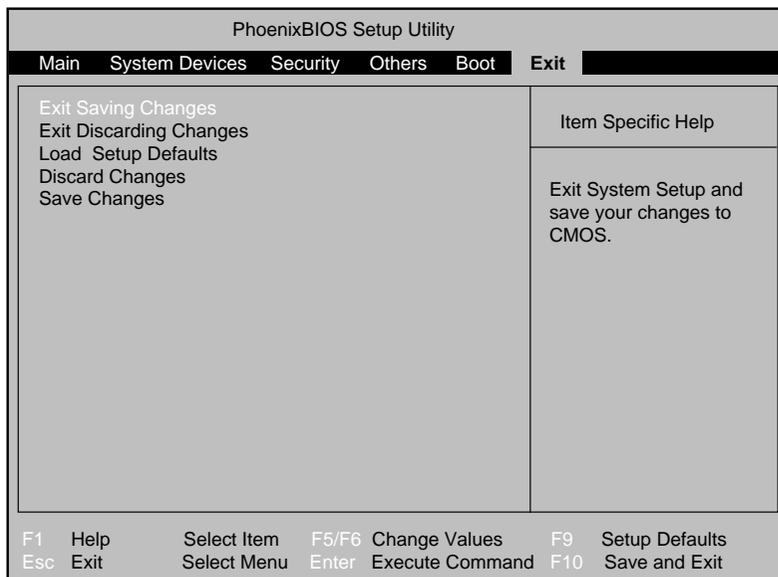


メモ

- フロッピーディスクで起動するには、そのフロッピーディスクが起動専用でフォーマットされている必要があります。
- CD-ROM 装置 / CD-RW 装置 / DVD-ROM 装置で起動するには、起動可能な CD (ブータブル CD) が必要です。

BIOS セットアップを終了します。

BIOS セットアップの設定を既定値の設定や、変更を加える前の設定に戻す項目があります。



(注) 画面は一例です。

Exit メニューの Exit Saving Changes が **[F10]** キーを押して、BIOS セットアップ設定を CMOS-RAM に書き込まないと、BIOS セットアップの内容は更新されません。

### Exit Saving Changes

変更した設定を、保存 (CMOS-RAM に書き込み) して、BIOS セットアップを終了します。

### Exit Discarding Changes

変更した設定を、保存しない (BIOS セットアップを最後に保存したときの状態) で終了します。

### Load Setup Defaults

BIOS セットアップの内容を、既定値にします。終了はしません。

### Discard Changes

変更前の設定 (BIOS セットアップを最後に保存したときの状態) に戻します。終了はしません。

### Save Changes

変更した設定を、保存 (CMOS-RAM に書き込み) します。終了はしません。

# 8

## システムの復旧

本章では、同梱されているリカバリ CD の  
使い方について説明します。

### 1 初期インストールソフトウェアを復元する .... 180



# ① 初期インストールソフトウェアを復元する

本製品にはリカバリ CD ( Product Recovery CD-ROM ) が同梱されています。何らかの障害によってハードディスクの内容が壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合に、本製品にあらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを復元し、ご購入時の状態に戻します。

## ① 準備

次のものを使用します。

Product Recovery CD-ROM  
取扱説明書 ( 本書 )

Microsoft Office<sup>(\*)</sup> を復元するには、上記に加えて製品に同梱されている次のものを使用します。

Microsoft<sup>®</sup> Office 2000 Personal CD-ROM  
Microsoft<sup>®</sup> / Shogakukan Bookshelf<sup>®</sup> Basic CD-ROM

( \*1 ) Microsoft<sup>®</sup> Office 2000 Personal および Shogakukan Bookshelf<sup>®</sup> Basic

## ② 操作手順



**注意** ・初期インストールソフトウェアの復元を行うと、ハードディスクに保存されていたデータはすべて削除されます。復元する前にハードディスクに必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。  
ハードウェア構成を変更している場合は、パソコンをご購入時の状態に戻してから、初期インストールソフトウェアの復元を行なってください。  
・初期インストールソフトウェアの復元を行う場合は AC アダプタを必ず接続してください。

- 1 「Product Recovery CD-ROM Disk1」をセットして、パソコンの電源を切る
- 2 パソコン本体に AC アダプタが接続されていることを確認する
- 3 パソコンの電源を入れ、「TOSHIBA」の画面が表示されたら、キーボードの **[C]** キーを押す
- 4 復元を行う場合は [ 続ける ] ボタンを、復元を行わない場合は [ キャンセル ] ボタンをクリックする  
[ 警告 ] 画面が表示されます。

- 5** 復元を続行する場合は [ はい ] ボタンを、復元を中止する場合は [ いいえ ] ボタンをクリックする  
復元を開始します。



**注意** ・初期インストールソフトウェアの復元中、復元しているファイル名が正常に表示されないことがあります。  
この現象は復元するソフトウェアが日本語に対応していないために起こるものです。  
動作上問題はありません。  
・初期インストールソフトウェアの復元中は、ディスプレイを閉じないでください。  
また、リッドスイッチに触れないでください。正常にインストールできないことがあります。

- 6** 画面の指示に従って、「Product Recovery CD-ROM Disk2」をセットし、[ OK ] ボタンをクリックする
- 7** 画面の指示に従って、「Product Recovery CD-ROM Disk3」をセットし、[ OK ] ボタンをクリックする  
復元が終了後、終了メッセージが表示されます。
- 8** CD を取り出し、[ 再起動 ] ボタンをクリックする  
システムが再起動し、Windows のセットアップが始まります。  
☞ Windows のセットアップ ☞ 「2 章 2-1 Windows Me のセットアップ」

## ユーティリティのインストール

Windows のセットアップ終了後、イージーボタンとタッチパッドのユーティリティをインストールしてください。

☞ 「2 章 2-2 イージーボタンとタッチパッドを使うために」

## Microsoft Office<sup>(\*)</sup> の復元方法

Microsoft Office<sup>(\*)</sup> は、以上の手順では復元されません。

Windows のセットアップが終了した後に、アプリケーションのパッケージに同梱されているインストール手順書を参照のうえ、復元してください。

(\*) Microsoft<sup>®</sup> Office 2000 Personal および Shogakukan Bookshelf<sup>®</sup> Basic

## ● メールボタンの設定方法

リカバリCD ( Product Recovery CD-ROM )、Microsoft<sup>(R)</sup> Office 2000 Personal CD-ROM を使用してシステムを復元した場合、メールボタンを押して起動するメールソフトの設定は、ご購入時の状態に戻りません。

システムを復元した場合、イージーボタンは有効に設定されていません。

Windows セットアップ終了後、イージーボタンのユーティリティをインストールしてください。

☞ 「2章 2-2 イージーボタンとタッチパッドを使うために」

メールボタンの設定をご購入時の状態に戻す場合は、次の操作を行ってください。

- 1 タスクバーの [ Easy Button ] (  ) アイコンをダブルクリックする
- 2 [ ボタン名 ] で [ Mailer ] を選択する
- 3 [ 起動ファイル名 ] を [ MSIMN.EXE ] から [ Outlook.exe ] に変更する



- 4 [ OK ] ボタンをクリックする



・[ 全てを標準設定に戻す ] ボタンを押さないでください。[ 起動ファイル名 ] が [ MSIMN.EXE ] に戻り、設定が無効になります。

# 9

## 困ったときは

本章では、困ったときの対処方法を説明します。  
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

<b>1</b>	困ったときは .....	184
----------	--------------	-----



# 1 困ったときは

パソコン本体を使ってうまく操作できないとき、動作がおかしいと感じたときの、解決法をご紹介します。

## 1 Q & A 集を見る前に

設定の確認によく使う、[コントロールパネル]の開き方を説明します。

### ● 方法 1 - [スタート]メニューから開く

1 [スタート]ボタンをクリックする

2 [設定]にマウスポインタを合わせる

3 [コントロールパネル]をクリックする

[コントロールパネル]が開きます。

目的のアイコンが表示されていない場合は、画面左の[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリックしてください。

### ● 方法 2 - [マイコンピュータ]から開く

1 デスクトップの[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックする

2 [コントロールパネル]アイコンをダブルクリックする

[コントロールパネル]が開きます。

目的のアイコンが表示されていない場合は、画面左の[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリックしてください。

## 2 Q & A 集

### ● 電源を入れるとき / 切るとき...

- 電源が入らない / システムが起動しない ..... 186
- 自動的にプログラムが実行される ..... 187
- 電源が切れる ..... 188
- 電源が切れない ..... 188
- 電源が入ってしまう ..... 188

### ● 表示・画面について

- 画面に何も表示されない ..... 189
- 画面が見にくい ..... 190
- 表示自動停止機能が働かない ..... 191
- タスクバー / ウィンドウの表示 ..... 192
- ファイルが見つからない ..... 192

● <b>アプリケーションについて</b>	
● アプリケーションが使えない .....	193
● <b>印刷について</b>	
● 印刷できない .....	194
● <b>キーボード・マウス・タッチ패드について</b>	
● 思うように文字が入力できない .....	195
● マウスが使えない .....	196
● <b>周辺機器についてのトラブル</b>	
● フロッピーディスク/フロッピーディスクドライブについて .....	197
● CD / DVD について .....	199
● PC カードについて .....	200
● LAN 機能が使えない .....	201
● USB 機器について .....	202
● i.LINK 対応 (IEEE1394) 機器について .....	202
● 赤外線通信機能について .....	203
● <b>インターネット/メールについて</b>	
.....	204
● <b>音量について</b>	
● スピーカから音が聞こえない .....	210
● おかしな音が聞こえる .....	212
● <b>調子がおかしい!</b>	
● テレビ、ラジオに障害が出る .....	212
● 休止状態が使えない .....	213
● パソコンの動作がおかしい .....	213
● その他調子がおかしい .....	215
● <b>不明なメッセージが出た!</b>	
.....	215
● <b>異常や故障の場合</b>	
.....	217

## ● 電源を入れるとき / 切るとき...

### ● 電源が入らない / システムが起動しない



パソコンの電源が入らない



電源スイッチを押す時間が短い  
電源スイッチをしばらく押し続けてください。



一度電源が入りかけるが、すぐに切れる  
(バッテリー状態ランプが点滅している場合)



バッテリーの充電量が少ない  
次の操作を行なってください。  
・ 本製品用の AC アダプタを接続する  
 他機種用の AC アダプタは使用できません。  
・ 充電済みのバッテリーパックを取り付ける



電源の接触が悪い  
次の操作を行なってください。  
・ AC アダプタを抜き差ししてみる  
・ バッテリーパックを抜き差ししてみる



危険防止機能が働いた  
パソコン内部温度の上昇が一定以上に達すると、危険防止機能が働き、システムが自動停止します。使用できる環境温度は 5 ~ 35 です。  
電源が入らない場合は、東芝 PC 集中修理センターにご連絡ください。



電源を入れたが、システムが起動しない



システムが入っていないフロッピーディスクが挿入されている  
フロッピーディスクを取り出してから、パソコンを再起動してください。



Windows 起動時に自動的にスキャンディスクが始まる



前回使用したときに、Windows の終了手順に従わずに電源を切った  
スキャンディスク後、ハードディスクに異常がなければ、Windows が起  
動します。

正常に起動しなかった場合は、画面の指示に従って操作を行なってください。

## ● 自動的にプログラムが実行される



Windows の起動と同時にプログラムが実行される



[スタートアップ] に登録されている

[スタートアップ] に登録されていると、Windows 起動と同時にプログラ  
ムが自動的に起動します。

次の手順で設定を変更してください。

[スタート]-[設定]-[タスクバーと[スタート]メニュー]をクリックする

[詳細設定] タブで [削除] ボタンをクリックする

[ショートカットやフォルダの削除] 画面が表示されます。

[スタートアップ] をダブルクリックする

[スタートアップ] の下にアイコンが表示されます。

削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除] ボタンをクリック  
する

[タスクバーと[スタート]メニューのプロパティ] 画面で [閉じる] ボタ  
ンをクリックする

## ● 電源が切れる

 パソコン使用中に電源が切れる

 危険防止機能が働いた

パソコンの内部温度の上昇が一定以上に達すると、危険防止機能が働き、システムを自動停止します。使用できる環境温度は 5 ~ 35 です。温度の低い場所へ移動しても、電源が切れる場合は、東芝 PC 集中修理センターにご連絡ください。

 自動的に休止状態になった

☞ 休止状態 ☞ 「6 章 6-3 休止状態を実行する」

 警告音が鳴り、バッテリー状態ランプが消灯した

 バッテリーの充電量が少なくなった

次の操作を行なってください。

- ・ AC アダプタを接続する
- ・ 充電済みのバッテリーパックを取り付ける

## ● 電源が切れない

 電源スイッチを押しても電源が切れない

 次の操作を行なってください。

- ・ 電源スイッチを 5 秒以上押す
- ・ 強制電源オフスイッチを押す
- ・ AC アダプタ バッテリーパックの順に取りはずし、再度、バッテリーパック AC アダプタの順に取り付ける

## ● 電源が入ってしまう

 自動的に電源が入ってしまう

 自動的に電源が入るよう Windows やユーティリティで設定されている Windows のタスクスケジューラが設定されています。

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[タスク]をクリックし、設定されているプログラムを削除してください。

## ● 表示・画面について

### ● 画面に何も表示されない



画面に何も表示されない

(電源ランプが点灯していない、または点滅している場合)



電源が入っていない、またはスタンバイ状態になっている  
電源スイッチを押してください。



画面に何も表示されない

(電源ランプが点灯している場合)



表示自動停止機能が働いた

次の操作を行なってください。

- ・ **[Shift]** キーや **[Ctrl]** キーを押す
- ・ マウスを動かす、またはタッチパッドを操作する



メモ

・ CRT ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに 10 秒前後かかることがありますが、故障ではありません。



インスタントセキュリティ (表示自動停止) 機能が働いた

次の操作を行なってください。

- ・ パスワードを設定していない場合  
**[Enter]** キーまたは **[F1]** キーを押す
- ・ パスワードを設定している場合  
パスワードを入力し、**[Enter]** キーを押す  
☞ パスワード ☞ 「7章 4 Security (セキュリティ) メニューの詳細」



メモ

・ パスワードを忘れた場合は、お使いの機種をご確認後、東芝 PC 集中修理センタにご依頼ください。パスワードの解除を東芝 PC 集中修理センタにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書 (お客様ご自身を確認できる物) の提示が必要となります。



表示装置が適切に設定されていない

表示装置を切り替えてください。

☞ 表示装置の切り替え ☞ 「4章 12-5 CRT ディスプレイ」

## ● 画面が見にくい



画面が見にくい



ディスプレイを見やすい角度に変える



CRT ディスプレイで画面の色がにじんだように表示される



ほかの電気製品の影響を受けている

テレビ、オーディオ機器のスピーカなど強力な磁気を発生する電気製品から遠ざけてください。



メモ

・高圧電線の近くの建物の場合、パソコン本体やCRTディスプレイを置く位置を変えることによって、画像の乱れが直る場合もあります。



画面が暗い



[Fn] + [ ] キーを押す

画面の輝度を変更してください。



サイドライト用の冷陰極管が消耗している

お使いの機種をご確認後、東芝 PC 集中修理センタにご連絡ください。有償にて交換いたします。



メモ

・ディスプレイに装着されているサイドライト用のFL管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。画面の輝度を変更しても暗い場合は、長期間のご使用によりサイドライト用の冷陰極管が消耗していることが考えられます。



画面の外に黒い枠が表示される



低い解像度で設定されている

[画面のプロパティ] で領域サイズを変更してください。

[コントロールパネル] を開き、[画面] をダブルクリックする

[設定] タブの [画面の領域] で領域サイズを変更する

[OK] ボタンをクリックする



### 色が汚い



少ない色数で設定されている

次の手順で設定を変更してください。

- [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
- [設定]タブで[色]を[High Color]や[True Color]に変更する
- [OK]ボタンをクリックする



メモ

・解像度によっては[High Color]や[True Color]に設定できません。



### 画面の領域や色を変更できない



ディスプレイの設定が正しくない

次の手順で設定を確認してください。

- [コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする
- [デバイスマネージャ]タブで[ディスプレイアダプタ]が正しく設定されているか確認する
- [OK]ボタンをクリックする

## ● 表示自動停止機能が働かない



### 画面の表示自動停止を設定しても自動オフしない



MS-DOS プロンプトがアクティブになっている

次の操作を行なってください。

- ・ MS-DOS プロンプトを終了する
- ・ MS-DOS プロンプトを最小化する

## ● タスクバー／ウィンドウの表示



スタートボタン／タスクバーが表示されない



タスクバーの高さを低く設定している

次の手順で高さを調節してください。

マウスポインタを画面下に移動する

マウスポインタの形状が上下(↓)の矢印に変わったら、マウスを上下方向にドラッグする

適度な位置でマウスの左ボタンを離す



タスクバーが[自動的に隠す]に設定されている

次の手順で常にタスクバーを表示する設定に変更してください。

[スタート]-[設定]-[タスクバーと[スタート]メニュー]をクリックする

[全般]タブで[自動的に隠す]のチェック(☑)をはずし、[OK]ボタンをクリックする



使用していたウィンドウが見えなくなった



他のウィンドウの下に隠れて見えなくなっている

タスクバーに表示されている、使用していたウィンドウと同じ名前のボタンをクリックしてください。

他のウィンドウの下に隠れて見えなくなっていた場合は、一番手前に表示されます。

## ● ファイルが見つからない



ファイルを保存した場所がわからない



[検索]機能を使って検索する

次の手順で検索してください。

[スタート]-[検索]-[ファイルやフォルダ]をクリックする

[ファイルまたはフォルダの名前]欄に探したいファイル名を入力する

[探す場所]の□をクリックし、一覧から探したい場所をクリックし、[検索開始]ボタンをクリックする

ファイルの検索が始まり、しばらくすると検索結果が表示されます。

目的のファイルが表示されたら、ファイル名をダブルクリックして開く

目的のファイルが検索されなかった場合は、ファイル名や探す場所など条件を変更して再度検索してください。

## ● アプリケーションについて

アプリケーションの使い方については、アプリケーションに付属の説明書、またはアプリケーションのヘルプをご覧ください。

### ● アプリケーションが使えない

#### アプリケーションが使えない

##### 正しくインストールしていない

『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、正しくインストールしてください。

##### メモリが足りない

アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量がない場合は、そのアプリケーションを使用することはできません。必要なメモリ容量は、『アプリケーションに付属の説明書』をご覧ください。

##### システム構成を変更していない

アプリケーションによっては、システム構成の変更が必要です。『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、システム構成を変更してください。

##### アプリケーションがシステムに対応していない

アプリケーションによっては、使用できるシステム（OS）が限られている場合があります。  
☞ 『アプリケーションに付属の説明書』

#### アプリケーションが操作できなくなった

##### アプリケーションが動作していない

次の手順で強制終了させてください。この場合、アプリケーションで編集していたデータは保存できません。

**[Ctrl] + [Alt] + [Del]** キーを押す

[プログラムの強制終了] 画面が表示されます。

[応答なし] と表示されているアプリケーションをクリックする

[終了] ボタンをクリックする

アプリケーションが終了します。

## ● 印刷について

### ● 印刷ができない

#### 印刷ができない



プリンタの電源が入っていない

次の操作を行なってください。

- ・ パソコン本体の電源をいったん切り、プリンタ、パソコン本体の順で電源を入れ直す



接続ケーブルや接続コネクタが正しく接続されていない

正しく接続し直してください。



接続しているプリンタと違うプリンタを設定している

プリンタの設定を確認してください。

- [ スタート ] - [ 設定 ] - [ プリンタ ] をクリックする
- 接続しているプリンタのアイコンを右クリックする
- ショートカットメニューが表示されます。

「通常使うプリンタに設定」にチェック (  ) をつける



#### 最後まで正しく印刷できない



ECP に対応していないプリンタを使用している

プリンタのモードの設定を変更します。

- [ BIOS セットアップ ] を起動し、[ System Devices ] の [ Parallel port ] で [ Enabled ] または [ Auto ] を選択する
- [ Enabled ] を選択した場合は、[ Mode ] を [ Bi-directional ] または [ EPP ] に設定する

☞ プリンタポートモードの設定 ☞ 「4 章 11 プリンタの接続」



プリンタドライバを更新する

ドライバの入手方法については、プリンタの製造元にご確認ください。



#### 上記のすべてを行っても印刷できない



Windows を終了し、パソコンを再起動する

 前述のどれを行っても印刷できない

 プリンタのセルフテスト(印字テスト)を実行する  
プリンタのセルフテストができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

## ● キーボード・マウス・タッチ패드について

### ● 思うように文字が入力できない

 キーボードのキーを押しても文字が表示されない

 システムが処理中である  
マウスポインタが砂時計の形をしている間は、システムが処理中のため、キーボードまたはマウスの操作を受け付けられないことがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

 キーボードから文字を入力しているときにカーソルが飛んでしまう

 文字を入力している間はタッピング機能が効かないように設定を変更する  
[コントロールパネル]を開き、[マウス]をダブルクリックする  
[マウスのプロパティ]画面が表示されます。  
[タッピング]タブの[タッピング]で[キー入力時タップしない]とチェック(☑)する  
[OK]ボタンをクリックする

 半角の「~」(チルダ)が入力できない

 **Shift** + **~** キーを押す

 キーを押しても希望の文字が入力できない

 文字ロックの状態が合っていない  
キーボードの文字キーは、文字ロックの状態によって、入力される文字が異なります。次のキーを使ってキーボードを希望の状態にしてください。

- ・ **Shift** + **CapsLock 英数** キー
- ・ **Fn** + **F11** キー
- ・ **Fn** + **F10** キー



**Alt** + **半/全** キーを押しても、漢字モードにならない



日本語入力システムが組み込まれていない  
日本語入力システムを組み込んでください。



キーボードドライバが正しく設定されていない  
キーボードドライバの設定を確認してください。  
☞ 「Q. キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう」



どのキーを押しても、反応しない  
設定は合っているが、希望の文字が入力できない



内部処理が正しく行われなかった  
次の操作を行なってください。  
・ 電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す  
・ リセットスイッチを押す  
・ バッテリーパック、AC アダプタを抜き差しする

## ● マウスが使えない



タッチパッドやマウスを動かしても画面のマウスポインタが動かない（反応しない）



システムが処理中である  
マウスポインタが砂時計の形をしている間は、システムが処理中のため、キーボードまたはマウスの操作を受け付けられないことがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。



PS/2 マウスが使えない



パソコン本体の電源を入れたまま接続した  
次の操作を行なってください。  
・ マウスを接続した状態で、電源を入れ直す  
・ パソコン本体の電源を切ってマウスを抜き差しし、再度パソコン本体の電源を入れる



新しいハードウェアとして認識されていない

次の手順でウィザードを実行してください。

[コントロールパネル]を開き、[ハードウェアの追加]をダブルクリックする

[次へ]ボタンをクリックする

画面の指示に従って、操作してください。



タッチパッドとPS/2 マウスが同時に使用できない



ポインティング装置を同時に使用できるように設定されていない

次の手順で設定を変更してください。



・ホイール付きマウスの場合、正常に動作しないことがあります。

メモ

[BIOS セットアップ]を起動する

[System Devices]メニューで [Internal Pointing Device] を

[Simultaneous] に設定する

## ● 周辺機器についてのトラブル

周辺機器については「4章 ハードウェアについて」もあわせてご覧ください。

### ● フロッピーディスク/フロッピーディスクドライブについて



フロッピーディスクに書き込み（保存）できない



フォーマットされていない

フォーマットされていないフロッピーディスクは書き込み（保存）できません。



書き込み禁止状態になっている

フロッピーディスクを取り出して、書き込み可能状態にしてください。

☞ 書き込み禁止状態、書き込み可能状態

⇒「4章 2-1 フロッピーディスク」



フロッピーディスクの空き容量が少ない

次の操作を行なってください。

- ・ 不要なファイルを削除して、やり直す
- ・ 別のフロッピーディスクを使用する

 「ファイルが作れません」というエラーメッセージが表示された

 ルートディレクトリに作成できるファイル数を超えた  
新しくフォルダを作って、そこにファイルを作成してください。

 ファイルが開けない（読み込みエラーやディスクエラーが表示される）

 フロッピーディスクドライブが故障している  
他のフロッピーディスクで試してみてください。

 フロッピーディスクに何らかの問題がある  
フロッピーディスクを次の手順でチェックしてください。  
[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[スキャンディスク]をクリックする  
[エラーチェックをするドライブ]欄で「3.5 インチ FD (A:)」を選択する  
[開始]ボタンをクリックする  
スキャンディスクを開始します。

 フォーマットに時間がかかる

 未フォーマットのフロッピーディスクをフォーマットしている  
Windows では、初めてフォーマットするフロッピーディスクの場合、時間がかかります。

 CD / ハードディスクマークが消えない

 データを処理している  
大量のデータを処理しているときは、時間がかかります。マークが消えるまで待ってください。  
どうしても消えないときは作業を中断し、強制電源オフスイッチを押して再起動してください。  
再起動後、作業を行い、マークが消えない場合は、電源を切り、東芝 PC 集中修理センターに連絡してください。

## フロッピーディスクからシステムが起動しない

 システムが入っていないフロッピーディスクが挿入されている  
システムが入ったフロッピーディスクと入れ替えてください。

 フロッピーディスクドライブから起動するように設定されていない  
次の操作を行なってください。

[ BIOS セットアップ ] を起動する

[ Boot ] メニューで [ F5 ]、[ F6 ] キーを押して [ Removable Devices ] が最初になるように設定する

## CD / DVD について

### CD / DVD にアクセスできない

 ディスクトレイがきちんとしまっていない  
カチッと音がするまで押し込んでください。  
➡ CD / DVD のセット ➡ 「4章 3 CD 装置 / DVD 装置」

 CD / DVD がきちんとセットされていない  
ラベルがついている方を上にして、水平にセットしてください。

 ディスクトレイ内に異物がある  
異物があったら取り除いてください。何かはさまっていると、故障の原因になります。

 CD / DVD が汚れている  
汚れているようなら、乾燥した布で拭いてください。それでも汚れが落ちなければ、水か中性洗剤で湿らせた布で拭き取ってください。

 CD-ROM / CD-RW / DVD-ROM ドライブが CD / DVD を認識していない  
セレクトラベル動作ランプが点滅している間は、まだ認識されていません。  
消灯するまで待つ、再度アクセスしてください。

 CD-ROM / CD-RW / DVD-ROM ドライブのレンズが汚れている  
汚れを市販のレンズクリーナで取り除いてください。



### CD / DVD をセットしても自動的に起動しない



自動起動に対応していない CD / DVD を挿入している

自動起動に対応していない CD / DVD は自動起動できません。『CD / DVD に付属の説明書』などで確認してください。

対応していないときは、次の手順で起動することができます。

デスクトップの [マイコンピュータ] をダブルクリックする

CD-ROM / CD-RW / DVD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックする



### 正しく動作する CD / DVD もあるが、動作しない CD / DVD もある



使用環境の設定が必要な CD / DVD を使用している

各 CD / DVD によって異なる使用環境を設定しなければならない場合があります。各 CD / DVD に付属の説明書を読んで、それぞれの CD / DVD に合った環境を設定してください。



### CD / DVD が取り出せない



パソコン本体の電源が入っていない

電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。

故障などで電源が入らない場合は、CD-ROM / CD-RW / DVD-ROM ドライブのイジェクトホールを先の細い丈夫なもの（例えばクリップを伸ばしたもの）で押してください。

## ● PC カードについて



### PC カードの挿入が認識されない



PC カードを奥までしっかり差し込む

イジェクトボタンが出てくるまで奥まで差し込んでください。

☞ PC カードの取り付け ☞「4 章 4 PC カード」。



デバイスとして認識されるが使用できない



IRQ が不足している

使用しないデバイスを使用不可にしてください。

[コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする

[デバイスマネージャ]タブで使用しない装置の種類をダブルクリックする

使用しないデバイスをクリックする

[プロパティ]ボタンをクリックする

[全般]タブの[このハードウェアプロファイルで使用不可にする]を  
チェックし、[OK]ボタンをクリックする

[システムのプロパティ]画面で[OK]または[閉じる]ボタンをクリック  
する

## LAN 機能が使えない



ネットワークに接続できない



ネットワークの設定が正しくない

次の点を確認してください。

- ・ Windows のネットワーク設定を確認する
- ・ 相手先のネットワーク機器 (HUB) などの設定を確認する
- ・ ケーブルの状態を確認する



LAN 機能が無効に設定されている

次の手順で設定を確認してください。

[コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする

[デバイスマネージャ]タブで[ネットワークアダプタ]の左の[+]をクリック  
する

[+]が[-]に変わり、項目が表示されます。

表示された項目の中から、「Accton EN2242 Series MiniPCI Fast  
Ethernet Adapter」をクリックする

[プロパティ]ボタンをクリックする

[全般]タブで[このハードウェアプロファイルで使用不可にする]  
のチェック (  ) をはずす

[OK]ボタンをクリックする

[システムのプロパティ]画面に戻ります。

[OK] または [閉じる] ボタンをクリックする

## ● USB 機器について



USB 機器が使えない



USB 機器がシステムに対応していない

USB 機器によっては、使用できるシステム（OS）が限られている場合があります。

☞ 『USB 機器に付属の説明書』



正しく接続されていない

ケーブルが、パソコン本体とUSB 機器に正しく接続されているかどうか確認してください。



ドライバが正しくインストールされていない

ハードウェアウィザードを実行してください。

[コントロールパネル]を開き、[ハードウェアの追加]をダブルクリックする  
[次へ]ボタンをクリックする

画面の指示に従って操作してください。



Windows を再起動する



休止状態から復帰後、正常に動作しない



休止状態に対応していないUSB 機器を接続している

USB コネクタから1度はずし、再度接続してください。

## ● i.LINK 対応（IEEE 1394）機器について



i.LINK 対応機器が使えない



正しく接続されていない

ケーブルが、コンピュータとi.LINK 対応機器に正しく接続されているか確認してください。



ドライバが正しくインストールされていない

次の手順でインストールしてください。

・ [コントロールパネル]を開き、[ハードウェアの追加]をダブルクリックする  
画面の指示に従って操作してください。



i.LINK 対応機器の電源を入れる



Windows を再起動する

## ● 赤外線通信について



赤外線通信ができない



赤外線通信ができる環境になっていない

次のことを確認してください。

- ・ 通信先とパソコン通信速度を同じにする
- ・ 赤外線ポート間の障害物を取り除く
- ・ 赤外線ポートの汚れをおとす
- ・ 赤外線ポートの設定を正しく設定する



赤外線通信はできるが、データが正しく送られない



正しく通信できる環境になっていない

次のことを行なってみてください。

- ・ 通信先とパソコン通信速度を同じにする
- ・ 通信先との距離を変えてみる
- ・ 直射日光や蛍光灯の当たる場所からパソコンを離す
- ・ 赤外線を出す装置をパソコン本体から離す



ファイル送信の設定がされていない

次の手順で設定してください。

- [コントロールパネル]を開き、[ワイヤレスリンク]をダブルクリックする
- [ファイル転送]タブで[ほかのユーザーが赤外線通信を使ってこのコンピュータにファイルを送信できるようにする]をチェックする
- [OK]ボタンをクリックする

## インターネット/メールについて



「ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。パスワードを確認してから、やり直してみてください。」  
または「ダイヤル先のコンピュータから切断されました。接続のアイコンをダブルクリックし、やり直してみてください。」と表示される



[ダイヤルアップネットワーク]の設定が間違っている

次の項目の設定に間違いがあると、これらのエラーメッセージが表示され、接続できません。

- ・ダイヤルアップ時のユーザID
- ・ダイヤルアップ時のパスワード
- ・IP アドレス
- ・ネームサーバアドレス

次の手順でそれぞれの設定を確認してください。

[スタート]-[設定]-[ダイヤルアップネットワーク]-[××(接続名)]  
をクリックする

[接続]画面が表示されます。

[ユーザー名]と[パスワード]を確認する

ユーザ名などの設定内容については契約先のプロバイダに連絡し、設定に問題がないか確認してください。

[接続]画面で[プロパティ]ボタンをクリックする

[××]画面が表示されます。

[ネットワーク]タブで[使用できるネットワークプロトコル]の[TCP/IP  
設定]ボタンをクリックする

[TCP/IP設定]画面が表示されます。

[IPアドレスを指定する]の設定と、[ネームサーバアドレスを指定する]  
の設定を確認する

設定できないIPアドレスを指定しているか、ネームサーバアドレスを指定するのを忘れていた可能性があります。IPアドレスなどの指定はプロバイダにより異なります。契約先のプロバイダに連絡し、設定状態に問題がないか確認してください。

[TCP/IP設定]画面で[OK]ボタンをクリックする

[××]画面で[OK]ボタンをクリックする



「サーバーへの接続が完了しませんでした。」と表示され、回線が切断される



[ダイヤルアップネットワーク] の設定が間違っている

次の手順で設定を確認してください。

[スタート]-[設定]-[ダイヤルアップネットワーク]-[××(接続名)]  
をクリックする

[接続] 画面が表示されます。

[プロパティ] ボタンをクリックする

[××(接続名)] 画面が表示されます。

[ネットワーク] タブで [使用できるネットワークプロトコル] の [TCP/  
IP] がチェックされているか確認する

インターネット接続には TCP/IP 接続だけを使用するので、[NetBEUI] と  
[IPX/SPX 互換] のチェックをはずしてください。

[OK] ボタンをクリックする



「ダイヤル中」がしばらく続いた後、「ダイヤル先のコンピュータが応答し  
ません。」と表示される



電話番号の設定が間違っている

次の点をそれぞれ確認してください。

[ダイヤルアップネットワーク] の電話番号の設定

[スタート]-[設定]-[ダイヤルアップネットワーク]-[××(接続名)]  
をクリックする

[接続] 画面が表示されます。

[プロパティ] ボタンをクリックする

[××(接続名)] 画面が表示されます。

[全般] タブで [電話番号] が正しいか確認する

[OK] ボタンをクリックする

[ダイヤルのプロパティ] の電話番号の設定

[コントロールパネル] を開き、[テレフォニー] をダブルクリックする

[ダイヤルのプロパティ] 画面が表示されます。

次の点を確認する

- ・発信元の市外局番を正しく設定しているか

携帯電話 / PHS を使用して通信する場合は、市外局番に 0000 など実在  
しない市外局番を設定してください。

- ・外線発信番号に不要な数字が登録されていないか

[OK] ボタンをクリックする



「Microsoft ダイアルアップアダプタがインストールされていないか、または正常に応答しません。」と表示され、回線が切断される



[ダイアルアップアダプタ]と[TCP/IP]が組み込まれていない

次の手順で追加してください。

[コントロールパネル]を開き、[ネットワーク]をダブルクリックする  
[ネットワーク]画面が表示されます。

[ネットワークの設定]タブで[現在のネットワークコンポーネント]に、  
次のコンポーネントが組み込まれているか確認する

- ・ダイアルアップアダプタ
- ・TCP/IP

[ダイアルアップアダプタ]、または[TCP/IP]が表示されていない場合は、  
[追加]ボタンをクリックする

[ネットワークコンポーネントの選択]画面が表示されます。

[ダイアルアップアダプタ]、または[TCP/IP]を追加する

《TCP/IPを追加する場合》

1. [プロトコル]をクリックし、[追加]ボタンをクリックする  
[ネットワークプロトコルの選択]画面が表示されます。
2. [製造元]で[Microsoft]、[ネットワークプロトコル]で[TCP/IP]  
を選ぶ

《ダイアルアップアダプタを追加する場合》

1. [アダプタ]をクリックし、[追加]ボタンをクリックする  
[ネットワークアダプタの選択]画面が表示されます。
2. [製造元]で[Microsoft]、[ネットワークアダプタ]で[ダイアルアップアダプタ]を選ぶ

[OK]ボタンをクリックする

[ネットワーク]画面に戻ります。

[OK]ボタンをクリックする

メッセージに従って再起動する



発信音はしているが、呼び出し音が聞こえない

[回線が使用中です] [回線はビジーです] [応答なし] [接続を確立できません]と表示される



回線が使用されている

電話機や他のパソコンなどで、その回線を使用していないか確認してください。



ダイヤル方法の設定が間違っている

次の手順で設定を確認してください。

[コントロールパネル]を開き、[テレフォニー]をダブルクリックする

[ダイヤルのプロパティ]画面が表示されます。

[ダイヤル方法]の[トーン]/[パルス]をご使用の回線にあわせて設定する  
NTTの加入回線の場合、プッシュ回線は[トーン]、ダイヤル回線は[パルス]を選んでください。

また、ISDN回線の場合は、[トーン]になります。どの回線を使っているかは、明細書などご契約の電話会社との契約書類をご覧ください。

[OK]ボタンをクリックする



・使用しているアプリケーションによっては、[パルス]の場合[10pps]/[20pps]の設定が必要です。詳しくは『アプリケーションのヘルプ』をご覧ください。



発信音が聞こえず「発信音が聞こえません。」とエラーが表示される

[発信音が聞こえません。] または [発信音がありません。モデムがコンピュータ、電話機に接続されているかどうかを確認してください。]と表示される



モジュラーケーブルが繋がれていない

モジュラーケーブルの接続を確認してください。

☞ モジュラーケーブルの取り付け ☞ 「4章 6 電話回線への接続」



内線/外線の区別がある電話回線で使用している

0 発信の回線に接続している場合の設定がされていない

設定を行う前に、次の事を確認してください。

- ・ 0 発信で外線接続する回線で接続する場合、専用の受話器以外は接続できない場合があります。
- ・ 構内交換機(PBX)を介した電話回線は、直接モデム装置を接続できない場合があります。詳しくはPBX設置業者やPBX装置のお取り扱い元にご確認ください。

0 発信で使用する場合、次の「ダイヤルのプロパティ」と「モデムのプロパティ」の設定を行なってください。

#### ダイヤルのプロパティの設定

[コントロールパネル]を開き、[テレフォニー]をダブルクリックする

[ダイヤルのプロパティ]画面が表示されます。

[所在地情報]タブで[外線発信番号]の[市内通話]、[市外通話にそれぞれ半角で0(ゼロ)]を入力し、[OK]ボタンをクリックする

[ダイヤルのプロパティ]画面で[OK]ボタンをクリックする

#### モデムのプロパティの設定

[コントロールパネル]を開き、[モデム]をダブルクリックする

[モデムのプロパティ]画面が表示されます。

[全般]タブで該当するモデムを選択し、[プロパティ]をクリックする

[接続]タブで[接続オプション]の[トーンを待ってからダイヤルする]のチェックをはずし、[OK]ボタンをクリックする

[モデムのプロパティ]画面で[閉じる]ボタンをクリックする



メモ

・チェックボックスの表示が薄くなっていて選択できない場合は、[詳細設定]ボタンをクリックし、[追加設定]に「X3」と入力します。

・[接続]タブで[詳細設定]ボタンをクリックした際に、[追加設定]に「&F」と入力されていると、上記の手順でチェックをはずしても発信できなくなります。



#### モデム装置が故障した

落雷などの影響でモデム装置が故障した場合でも、「発信音が聞こえません」とエラーメッセージが表示されることがあります。



#### 内蔵モデムでK56flexサイトにうまく接続できない



#### 内蔵モデムの通信モードが合っていない

内蔵モデムの通信モードの設定を、次の手順に従ってK56flexを有効にしてください。

また、PBX経由など、回線品質がNTTの回線と異なる場合は、K56flexでの接続ができないことがあります。その場合は、K56flexを無効にして、V.34モードで接続してください。

[コントロールパネル]を開き、[モデム]をダブルクリックする

[モデムのプロパティ]画面が表示されます。

[LT Win Modem]を選択し、[プロパティ]をクリックする

[LT Win Modemのプロパティ]画面が表示されます。

[接続]タブで[詳細設定]ボタンをクリックする

[接続の詳細設定]画面が表示されます。

[追加設定] に半角英文字で次のように入力する

- ・ K56flex を有効にする場合 -V90=0 S38=1
- ・ K56flex を無効にする場合 -V90=1 S38=0



- ・ K56flex を無効にすると、V.34 モードで接続します。  
接続時の Max スピードは 33,600bps です。

[OK] ボタンをクリックする

[LT Win Modem のプロパティ] 画面の [OK] ボタンをクリックする

[モデムのプロパティ] 画面の [閉じる] ボタンをクリックする

[追加設定] に変更・追加を行なった場合は、[スタート]-[Windows の終了] から再起動してください。

再起動後、K56flex モードが無効になり、V.34 モードが有効になります。



ダイヤル発信時、呼び出し音と同時に断続した「ピー」という音が聞こえる



発信中の端末が情報機器であることを接続先端末に知らせるサイン（コーリングトーン）です。

インターネットやパソコン通信を 9600bps 以上で接続する場合は問題ありませんが、接続先によっては、接続直後に回線が切断されることがあります。その場合は、次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル] を開き、[モデム] をダブルクリックする

[モデムのプロパティ] 画面が表示されます。

接続に使用するモデムをクリックし、[プロパティ] をクリックする

[接続] タブで [詳細設定] ボタンをクリックする

[追加設定] に半角で「-C0」(マイナスシー ゼロ) と入力する

[LT Win Modem のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

[モデムのプロパティ] 画面で [閉じる] ボタンをクリックする

## ● 音量について

### ● スピーカから音が聞こえない



スピーカから音が聞こえない



ヘッドホン出力端子にヘッドホンが挿してある  
ヘッドホン出力端子からヘッドホンを取りはずしてください。



パソコン本体前面の音量調節バーで音量を調節する



タスクバーの [ボリュームコントロール] の設定が「ミュート」になっている  
次の手順で設定を変更してください。

タスクバーの [スピーカ] アイコンをクリックする

[ミュート] にチェックがついている場合は、クリックし、チェックをはずす  
つまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。



標準の優先するデバイスが変更されている

次の手順で優先するデバイスを正しく設定してください。

[コントロールパネル] を開き、[サウンドとマルチメディア] をダブルク  
リックする

[オーディオ] タブの [再生] で [優先するデバイス] を正しく設定する

[OK] ボタンをクリックする



## サウンドレコーダーで録音した音声データの音質が悪い



## 録音時のサンプリング周波数が低い

次の方法で設定を変更してみてください。

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[エンターテイメント]-[サウンドレコーダー]をクリックする

[ファイル]-[プロパティ]をクリックする

[詳細]タブで[形式の変換]の[今すぐ変換]ボタンをクリックする

[サウンドの選択]画面が表示されます。

標準で[サウンド名]は、「ラジオの音質」が設定されています。

[属性]欄を選択する

CDの音質の場合の属性は、「44.100kHz、16ビット、ステレオ」です。

これを目安に属性を選択してください。ただし高音質にすると、データ量が増大し、録音できる時間は短くなります。例えば外部マイクを使用して録音するときは属性をモノラルにするなどして、なるべくデータ容量を少なくしてください。

[名前を付けて保存]ボタンをクリックする

[名前を付けて保存]画面が表示されます。

[新しいファイル名]欄に名前を入力し、[OK]ボタンをクリックする

[サウンドの選択][サウンドのプロパティ]画面をそれぞれ[OK]ボタンをクリックして閉じる

サウンドレコーダーの画面に戻ったら、実際に録音して再生音をチェックしてください。



メモ

- ・サウンドレコーダーで新しい録音を開始すると、[サウンド名]は[ラジオの音質]に戻ります。もう一度設定し直してください。

## ● おかしな音が聞こえる



パソコン本体からカリカリと変な音がする



ハードディスクが自動保存を行なっている

パソコン操作中は、自動的にデータの保存などの内部作業が行われています。その際ハードディスクが動作する音が聞こえますが、問題はありません。極端に異常な音が聞こえるなど、おかしいと思われる状態が発生するときは、東芝 PC 集中修理センターまでご連絡ください。



甲高い音がする



ハウリングを起こしている

使用するソフトウェアによっては、外部マイクとスピーカとでハウリングを起こし、高く大きな音ができることがあります。次の方法で調整してください。

- ・ 外部マイクをパソコンから遠ざける
- ・ パソコン本体の音量調節バーで音量を調節する
- ・ 使用しているソフトウェアの設定を変える
- ・ ボリュームコントロールの設定を調整する

## ● 調子がおかしい！

### ● テレビ・ラジオに障害が出る



テレビ、ラジオの調子がおかしい



次の操作を行なってください。

- ・ テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
- ・ テレビ、ラジオに対するパソコン本体の方向を変える
- ・ パソコン本体をテレビ、ラジオから離す
- ・ テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
- ・ コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れる
- ・ 受信機に屋外アンテナを使う
- ・ 平衡フィーダを同軸ケーブルに替える

## ● 休止状態が使えない



休止状態が使えない



休止状態に対応していない周辺機器（PCカードなど）を取り付けている  
休止状態に対応していない周辺機器を取りはずしてください。  
⇒ 周辺機器の取りはずし ⇒ 「4章 ハードウェアについて」



スタンバイ状態になってしまう



休止状態の設定になっていない

[コントロールパネル]を開き、[電源の管理]をダブルクリックする  
[休止状態]タブで[休止状態をサポートする]をチェック(☑)する  
[OK]ボタンをクリックする



スタートアップに休止状態の妨げになるアプリケーションが設定されている  
[スタートアップ]からそのアプリケーションを削除し、Windowsを再起動してください。

## ● パソコンの動作がおかしい



バッテリーパックは充電したのに、すぐバッテリー状態ランプがオレンジ色に点滅する



バッテリーパックの充電機能が低下している  
別売りのバッテリーパックと交換してください。



使用中に処理が遅くなる



CPUの温度が上がった

CPUは高温になると、自動的に処理速度を下げます。しばらく作業を中止すると、CPUの温度が下がり、自動的に処理速度が元に戻ります。

## 使用中に操作できなくなった

### 次の操作を行なってください

- ・ 電源スイッチを 5 秒以上押し続ける  
電源が強制切断されます。この場合、保存していないデータは消失します。
- ・ すべての電源を抜いて、再起動する  
次の手順で行なってください。  
AC アダプタをはずしてから、バッテリーをはずす  
電源が OFF になります。  
バッテリーを取り付けてから、AC アダプタと電源コードを取り付ける  
再度電源スイッチを押す  
メモリテストから開始されます。

## 内蔵時計が合っていない

### 次の手順で [日付と時刻] 画面で修正してください

[コントロールパネル] を開き、[日付と時刻] をダブルクリックする  
[時刻] に表示されている、デジタル時計の数字の部分をクリックする  
「時：分：秒」で項目が分かれているので、変更したい部分をクリックしてください。  
デジタル時計右端にある上下のボタンで、時刻の修正を行う  
[OK] ボタンをクリックする

### 時計用バッテリーが充電されていない

パソコン本体に AC アダプタを接続し、しばらく時計用バッテリーを充電してください。

### 時計用バッテリーの充電機能が低下している

東芝 PC 集中修理センターにご連絡ください。

## 充電したはずのバッテリーパックを使用しても、パソコンのバッテリー状態ランプがオレンジ色に点灯し、バッテリーがフル充電状態を示さない

### 長時間バッテリーパックを使用していなかった

長時間バッテリーパックを使用していなかった場合、新しいバッテリーパックと交換して充電してください。  
それでも状態が変わらない場合は、故障していると考えられます。東芝 PC 集中修理センターにご連絡ください。

### しばらく充電して様子を見る

## ● その他調子がおかしい

### 調子がおかしい

#### 強制終了し、再起動する

強制終了の方法は、次の通りです。この場合、休止状態は無効になります。

**[Ctrl] + [Alt] + [Del]** キーを押す

[プログラムの強制終了]画面が表示されます。

**[Alt] + [S]** キーを押す

プログラムを強制終了します。パソコンを再起動してください。

### その他調子がおかしい場合

#### ウィルスに感染している

ウィルスチェックソフトでウィルスチェックを行い、ウィルスが発見された場合は駆除してください。

## ● 不明なメッセージが出た！

ご使用のシステムやアプリケーションソフトの説明書をご覧になってもわからない場合、次の点をご確認ください。

### 「Password = 」と表示される

#### パスワードが設定されている

設定したパスワードを入力し、**[Enter]**キーを押してください。

パスワードを忘れた場合は、お使いの機種をご確認後、東芝 PC 集中修理センターにご連絡ください。有償にてパスワードを解除いたします。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

👉 パスワード ⇨ 「7章 4 Security (セキュリティ) メニューの詳細」

### 「入力されたパスワードが間違っています」と表示される

#### 大文字ロック状態でパスワードを入力した

**[Shift] + [CapsLock 英数]** キーを押して大文字ロックの状態を解除し、再度入力してください。

 使用中突然「このプログラムは不正な処理を行ったので...」というメッセージが表示された

 ソフトウェアの内部処理がうまくいかなかった  
画面の指示に従い、[ 閉じる ] ボタンをクリックし、パソコンを再起動してください。この場合、データは保存されません。

 次のようなメッセージが表示された

- ・ 「Insert system disk in drive. Press any key when ready」
- ・ 「Non-System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- ・ 「Invalid system disk Replace the disk, and then press any key」
- ・ 「Boot: Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- ・ 「Disk I/O error Replace the disk, and then press any key」
- ・ 「Cannot load DOS press key to retry」

 次の操作を行なってください

- ・ システムディスクをセットし、何かキーを押す
- ・ フロッピーディスク装置からフロッピーディスクを取り出し、何かキーを押す

 「Boot sequence is changed.」と表示された

 システム起動順番を変更したというメッセージです。  
指定した装置から起動を開始します。  
しばらくお待ちください。

 C:¥WINDOWS>\_ と表示される

 MS-DOS プロンプトが全画面表示されている  
次の手順で、MS-DOS プロンプト画面を終了してください。

E  X  I  T とキーを押す

Enter キーを押す

 「KBC ERROR」と表示された

 PS/2 マウス、および PS/2 キーボードが接続されている場合は、電源を1度切り、取りはずしてから再度起動させてください。  
それでも同じエラーが表示されるようであれば、本体の故障のおそれがあります。東芝 PC 集中修理センタにご連絡ください。

 上記以外のメッセージが表示される

 ご使用のシステムやアプリケーションソフトの説明書をご覧ください。

## 異常や故障の場合

 異常な臭いや過熱に気づいた！

 電源を切り、電源コードを抜き、東芝 PC 集中修理センタにご連絡ください。  
なお、ご連絡の際には次のことをお知らせください。

- ・使用している機器の名称
- ・ご購入年月日
- ・現在の状態（できるだけ詳しくご連絡ください）

 操作できない原因がどうしてもわからない

 東芝 PC 集中修理センタにご連絡ください。  
ご連絡の際には次のことをお知らせください。

- ・使用している機器の名称
- ・ご購入年月日
- ・現在の状態



## 記号

キー	36
キーを使ったショートカットキー	41
キー	37
■/▲ ボタン	24, 139
▶/■ ボタン	24, 139
▶▶/  ボタン	24, 139
◀◀ ボタン	24, 139

## A

AC アダプタ	25
AC アダプタの接続	28
AC アダプタの取り扱い	28
Alt キー	36, 37

## B

BackSpace キー	37
BIOS セットアップ	164
Break キー	37

## C

CapsLock 英数キー	36
CD / ハードディスクマーク	24
CD-ROM/DVD Drive	177
CD-ROM 装置	22, 75
CD-ROM 装置の取り扱い	17
CD-RW / CD-R に書き込む	145
CD-RW 装置	22, 75
CD-RW 装置の取り扱い	17
CD のセット	77
CD の取り扱い	16
CD の取り出し	78
CD プレーヤ	138
CRT ディスプレイ	105
CRT ディスプレイの取り付け	105
CRT ディスプレイの取りはずし	105
Ctrl キー	36, 37

## D

Del キー	37
DirectCD	146
Discard Changes	178
DVD-ROM 装置	22, 75
DVD-ROM 装置の取り扱い	17
DVD のセット	77

DVD の取り扱い	16
DVD の取り出し	78
DVD を見る	148

## E

Easy CD Creator	147
End キー	37
Enter キー	37
Esc キー	36
Exit Discarding Changes	178
Exit Saving Changes	178
Ext. Keyboard "Fn"	170
Extended Memory	169
E メール	123

## F

FDD Controller	171
FD の取り扱い	15
Fn キー	36
Fn キーを使った特殊機能キー	40

## H

Hard Disk	169
Hard Drive	177
Home キー	37

## I

i.LINK ケーブルの取り付け	97
i.LINK ケーブルの取りはずし	98
i.LINK コネクタ	23, 97
i.LINK による LAN 接続	98
IDE Controller	170
IEEE1394 ケーブルの取り付け	97
IEEE1394 ケーブルの取りはずし	98
IEEE1394 コネクタ	23
Infrared Port	171
Ins キー	37

## L

LAN ケーブルの接続	90
LAN コネクタ	23
LCD Display Stretch	169
Legacy Diskette A	168
Load Setup Defaults	178
Low Battery Alarm	176

<b>M</b>		<b>U</b>	
Microsoft Office の復元方法 .....	181	USB 機器の取り付け .....	94
MS-IME .....	43	USB 機器の取りはずし .....	94
<b>P</b>		USB コネクタ .....	23, 94
Panel Close Alarm .....	176	User Password .....	173
Parallel port .....	171	<b>V</b>	
Password On Boot .....	175	Video Display Device .....	169
Pause キー .....	37	<b>W</b>	
PC カードスロット 0 .....	23	Windows セットアップ .....	49
PC カードスロット 1 .....	23	WinDVD2000 .....	148
PC カードの取り付け .....	81	Win キー .....	36
PC カードの取りはずし .....	82	Win キーを使ったショートカットキー .....	41
PC カードマーク .....	24	WWW .....	108
PgDn キー .....	37	<b>ア</b>	
PgUp キー .....	37	アカウント .....	131
Pointing Device .....	170	アクセスポイント .....	109
Power on Display .....	169	アプリケーションキー .....	37
Product Recovery CD-ROM .....	180	アプリケーションモード .....	24, 141, 142
PrtSc キー .....	37	<b>イ</b>	
PRT コネクタ .....	23, 99	イージーボタン .....	24, 139
PS/2 ケーブルの取り付け .....	101	イージーボタンの設定 .....	57, 141
PS/2 コネクタ .....	101	イージーランチャー画面 .....	153
PS/2 対応機器 .....	101	イージーランチャー機能 .....	153
PS/2 マウス .....	25	インスタントセキュリティ機能 .....	40
<b>Q</b>		インストール方法 .....	146
Quiet Boot .....	169	インターネット接続ウィザード .....	116
<b>R</b>		インターネットに接続する .....	111
Removable Devices .....	177	インターネットボタン .....	24, 120, 141
<b>S</b>		<b>エ</b>	
Save Changes .....	178	液晶ディスプレイ .....	22
Set User Password .....	174	液晶ディスプレイの取り扱い .....	17
Shift キー .....	36, 37	<b>オ</b>	
System Beep .....	176	オートジャンプ機能 .....	153
System Date .....	168	大文字入力固定状態 .....	24, 39
System Memory .....	169	主なキーの呼び方と役割 .....	39
System Time .....	168	音楽 CD モード .....	24, 139
S 端子ケーブルの取り付け .....	95	音楽 CD を再生する (OFF 時) .....	140
S 端子出力コネクタ .....	23, 95	オンラインサインアップ .....	115
<b>T</b>		[音量] アイコン .....	46
Tab キー .....	36	音量の調節 .....	45
Take Two .....	147	音量ボタン .....	22, 24, 45, 139

## カ

カーソルキー入力固定状態 .....	24
書き込み可能状態 .....	71
書き込み禁止状態 .....	71
カタカナ/ひらがなキー .....	37
かな入力 .....	43
カナ入力固定状態 .....	39
画面スクロール入力固定状態 .....	24
画面の手入れ .....	17
漢字変換 .....	44
簡単インターネット .....	115

## キ

キーボード .....	22, 36
キーボードの取り扱い .....	17
機能切り替えスイッチ .....	24, 139, 141
休止状態 .....	58
休止状態の実行 .....	161
休止状態の設定 .....	161
強制電源オフスイッチ .....	23

## ク

クリック .....	33, 35
------------	--------

## ケ

ケーブルの確認 .....	90
ケーブルの接続 .....	70

## コ

コードレスで使う .....	31
コンパクトディスクの取り扱い .....	16

## サ

サイドライト用 FL 管について .....	17
サウンド .....	19

## シ

使用できる CD .....	75
使用できる DVD .....	75
使用できる PC カード .....	80
状態表示パネル .....	24
照明 .....	27
消耗品 .....	19
新着メールの確認 .....	135

## ス

すいすいセットアップビデオ .....	25
数字/カーソルキー入力機能 .....	42
数字/カーソル入力キー .....	37
数字入力固定状態 .....	24
スクロール .....	33
スタンバイ機能 .....	159
スタンバイ機能の実行 .....	159
スピーカ .....	22
スペースキー .....	36

## セ

赤外線ポート .....	23
セキュリティロックスロット .....	23
前候補変換キー .....	37

## ソ

増設メモリスロット .....	25
増設メモリの取り付け .....	84
増設メモリの取りはずし .....	86

## タ

タッチパッド .....	22, 33
タッチパッドの設定 .....	57, 150
タッピング機 .....	151
タッピング機能(便利な使い方) .....	152
ダブルクリック .....	33, 35

## ツ

通風口 .....	23
-----------	----

## テ

ディスプレイ開閉ラッチ .....	23, 29
ディスプレイコネクタ .....	23, 105
電源コード .....	25
電源コードの接続 .....	28
電源コードの取り扱い .....	17, 28
電源コネクタ .....	23
電源スイッチ .....	22, 48, 59
電源入力マーク .....	24, 30
電源の管理 .....	155
電源表示ランプ .....	24, 30
電源メーターアイコン .....	62
電源を供給する .....	28
電子メール .....	108, 123
電話回線の設定 .....	112

ト	
特殊機能キー	41
ドラッグアンドドロップ	33, 35

ナ	
内蔵バッテリー	64

ニ	
日本語入力システム	43
入力に関する制御キー	39
入力モード	43

ネ	
ネットニュース	109
ネットワークの設定	91

ハ	
廃棄	19
パスワードの設定	174
パスワードを設定しているとき	48
パソコン使用時の環境	26
パソコン使用時の姿勢	27
パソコンの使用方法	27
パソコンの設置環境	26
パソコン本体の取り扱い	15
バッテリー残量表示マーク	24, 32
バッテリー充電量の確認	62
バッテリー充電量の減少	64
バッテリーの充電時間	31
バッテリーの充電方法	31
バッテリーの使用時間	63
バッテリーの節約	67
バッテリーパック	25
バッテリーパックの取り付け	65
バッテリーパックの取りはずし	65
バッテリーマーク	24, 32
半角/全角キー	36

ヒ	
光デジタル出力端子	23, 103
光デジタル出力の設定	104
左ボタン(タッチパッド)	22, 33
左ボタン(マウス)	35
表示方法の切り替え	105

フ	
ファンクションキー	36
付属品	25
ブラウザ	109, 120
プリンタケーブルの取り付け	99
プリンタケーブルの取りはずし	100
プリンタドライバのインストール	99
プリンタの設定	99
プリンタポートモード	99
フロッピーディスク装置	22, 71
フロッピーディスク装置の取り扱い	16
フロッピーディスクのセット	72
フロッピーディスクの取り扱い	15
フロッピーディスクの取り出し	72
フロッピーディスクのフォーマット	73
フロッピーディスクマーク	24
プロバイダ	108
プロバイダとの契約	115

ヘ	
ヘッドホン	102
ヘッドホン出力端子	23, 102
ヘッドホンの接続	102

ホ	
ホットインサージョン	80
ボリュームコントロール	45

マ	
マイク入力端子	23, 101
マイクロホン	101
マイクロホンの接続	101
マウス/キーボードコネクタ	23, 34
マウスの接続	34
マウスの使い方	35
マウスの取り扱い	18
マウスのプロパティ	150
マウスポインタ	33

ミ	
右ボタン(タッチパッド)	22, 33
右ボタン(マウス)	35

ム	
無変換キー	36

## メ

メールソフトの設定 .....	124
メール着信ランプ .....	24
メールボタン .....	24, 134, 141
メールボタンの設定 .....	182

## モ

文字キー .....	38
モジュラーケーブル .....	25, 88
モジュラーケーブルの取り付け .....	88
モジュラーケーブルの取りはずし .....	89
モジュラージャック .....	23, 88
持ち運ぶとき .....	19
モデム .....	19, 109

## ヤ

矢印キー .....	37
------------	----

## ユ

ユーザ1 ボタン .....	24, 141
ユーザ2 ボタン .....	24, 141
ユーザ登録 .....	56
ユーティリティのインストール .....	181

## ラ

ライトプロテクトタブ .....	71
------------------	----

## リ

リージョンコードの設定 .....	149
リカバリCD .....	180
リッドスイッチ .....	22

## ロ

ローマ字入力 .....	43
ロック状態 .....	24

故障かな?と思ったら

## 東芝 PC 集中修理センター

迅速に、ご使用のパソコンを修理いたします。

 0120-86-9192

ハロー クイックニ

受付時間 9:00 ~ 17:30 (祝祭日・特別休日を除く)

海外からの電話、携帯電話等で上記電話番号に接続できないお客様は、TEL 043-278-8122 で受付けております。

東芝PC集中修理センターでは、お客様のパソコンが故障した場合に送付到着後、迅速に修理を実施してご返却いたします。修理パソコン発送の際にはピックアップサービスをご利用する事ができ、お客様での送付荷造りは不要です。また、有償インストールサービスなどのサポートもご用意しております。

保証書に記入してある保証期間中に故障が発生した際には、保証書をご確認の上、ご連絡いただきますようお願いいたします。

## *DynaBook* 取扱説明書

(対象モデル DB60C/DB55C)

平成 12 年 8 月 10 日

A1 版発行

MPW0664A

発行 株式会社 **東芝** デジタルメディアネットワーク社

PC事業部 〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1(東芝ビルディング)